

326

173

支那蠶業視察報告書

蠶業試驗場



始



工3G50

・タトル有リ

326-173



大正五年九月

事者ノ参考ニ資ス

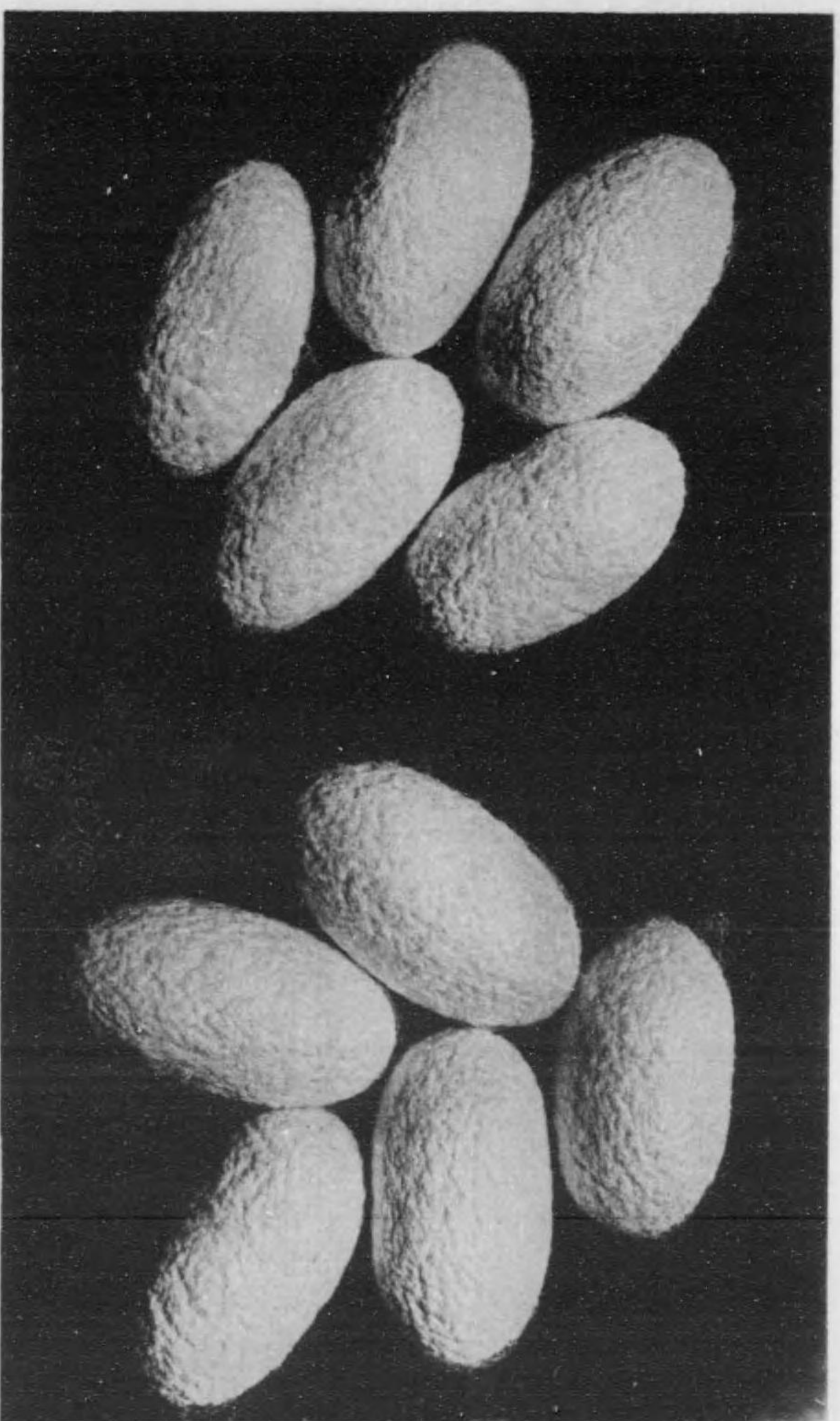
シメタルモノニシテ今之ヲ印刷ニ付シ以テ當

休職蠶業試験場技師河西大彌ニ囑託シ調査セ

本報告書ハ曩ニ蠶業視察ノ爲支那ニ出張セシ

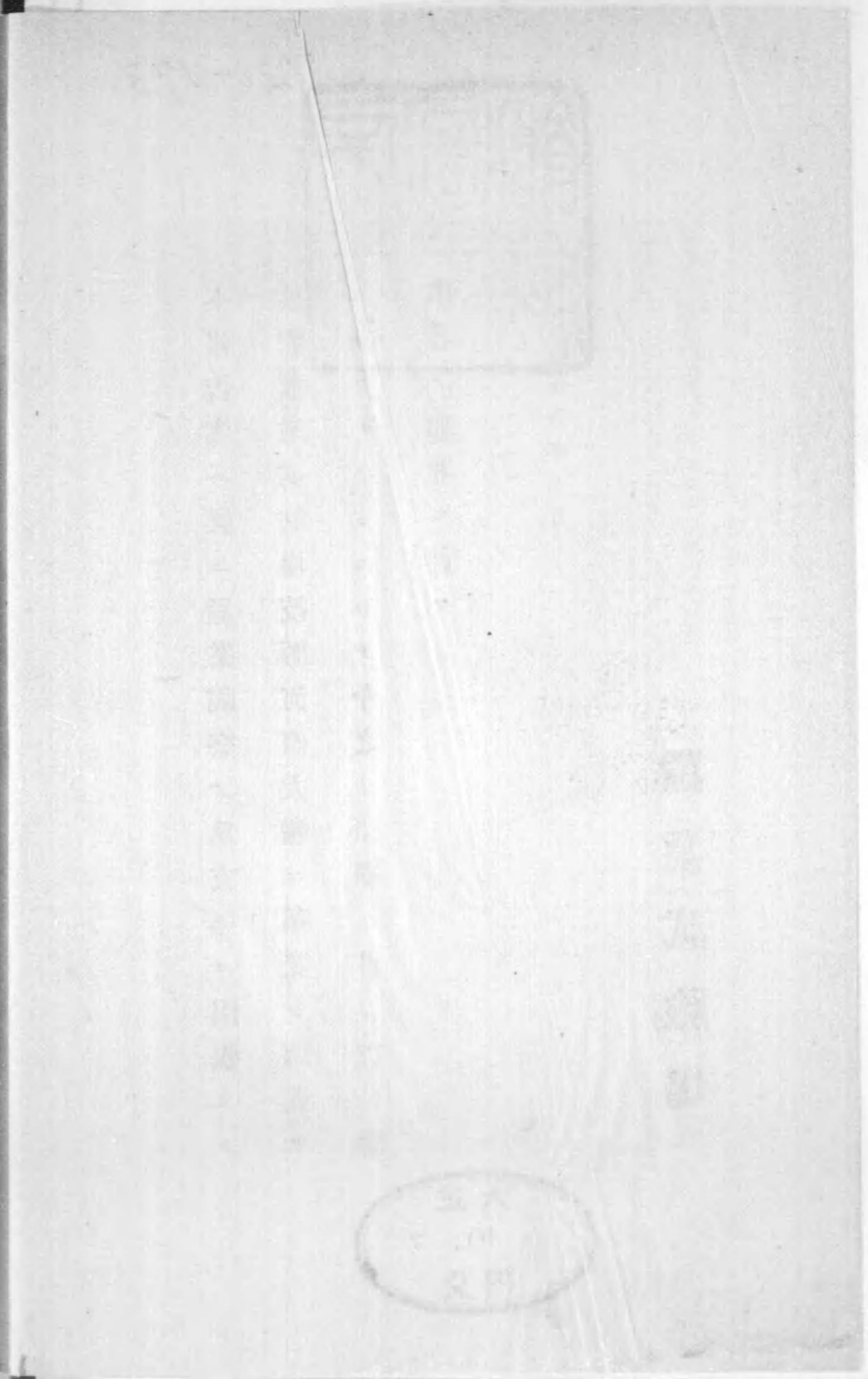
蠶業試験場

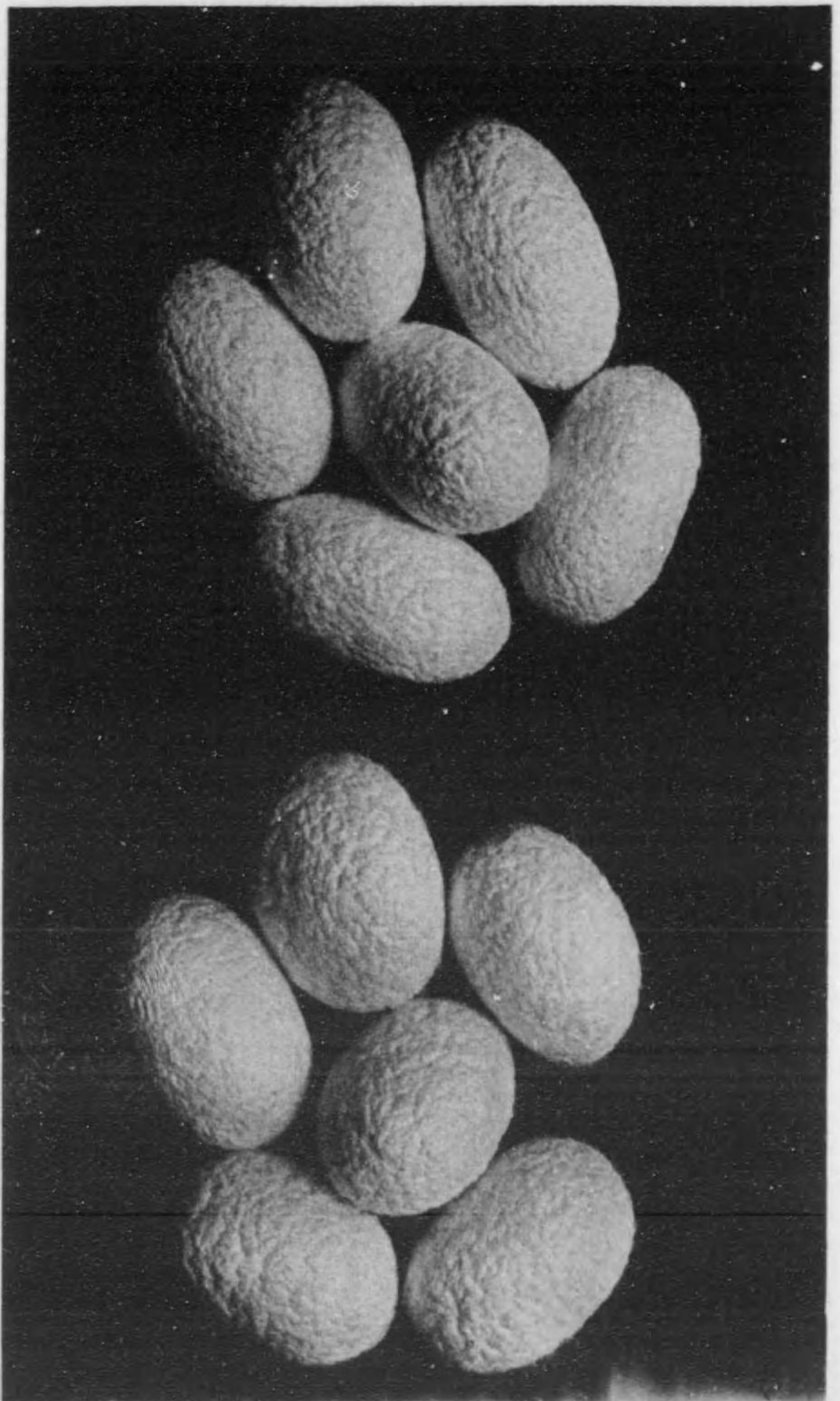




(2) 產澤玉者江浙 圖二第

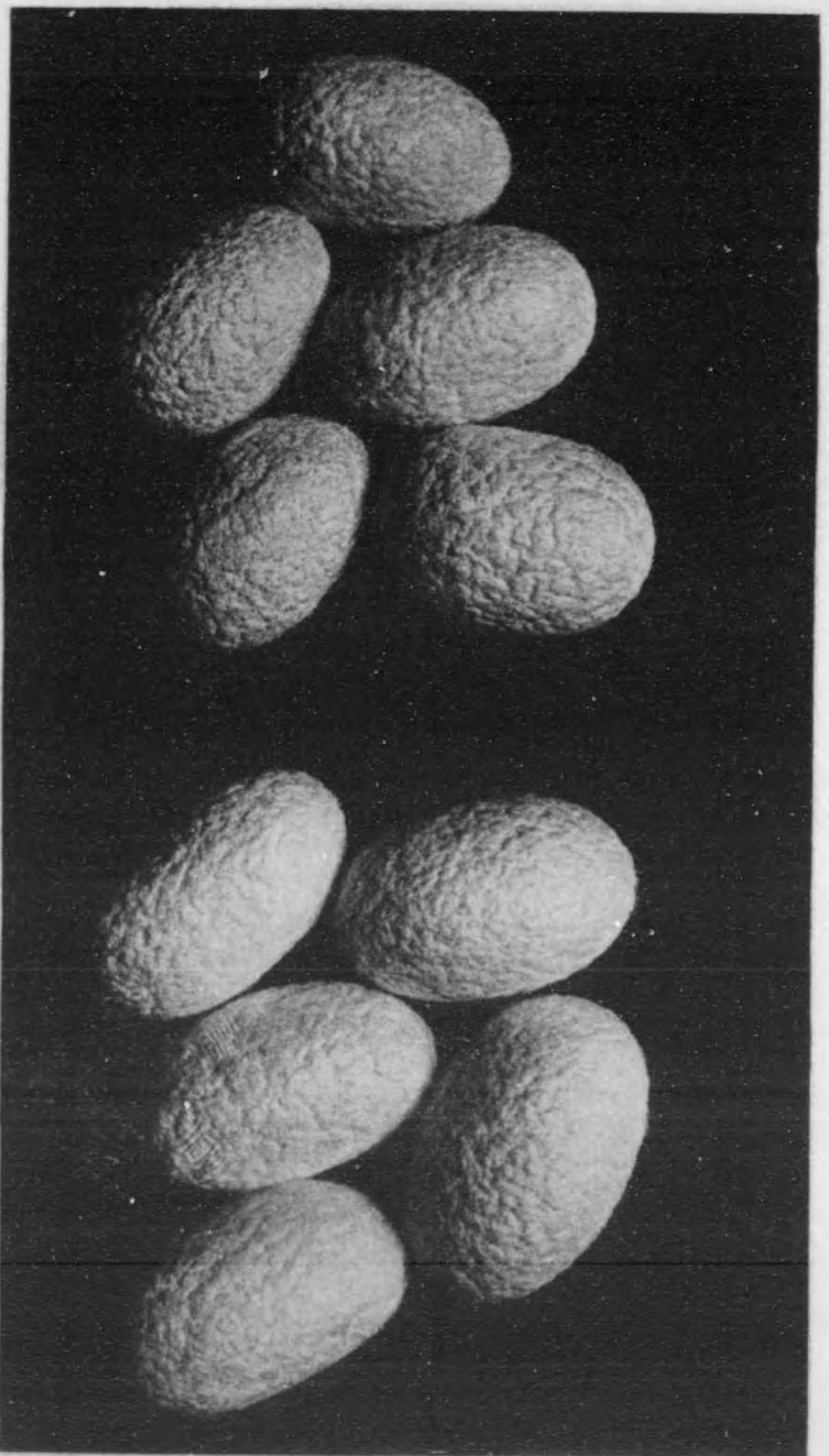
(1) 產澤玉者江浙 圖一第





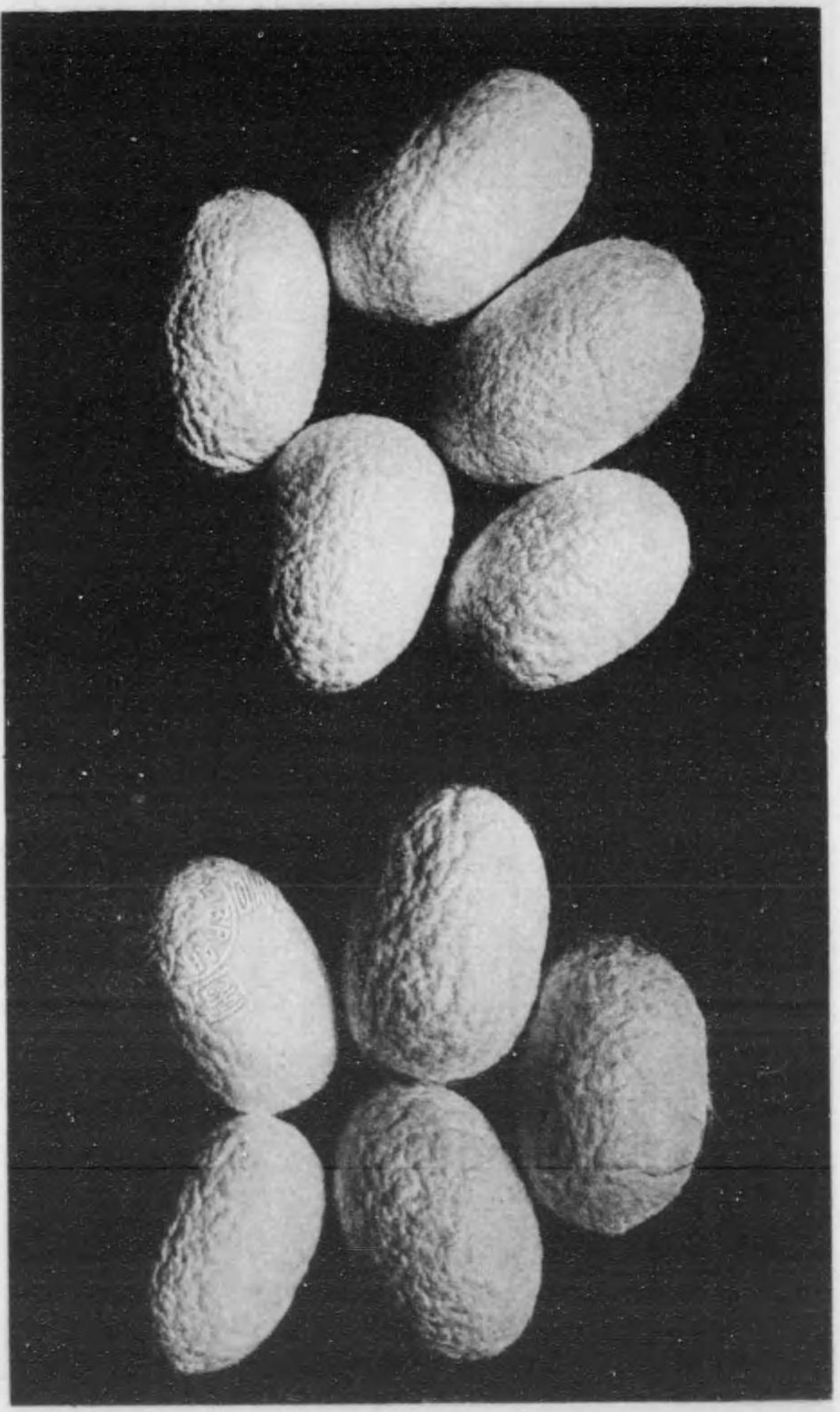
產縣嵯省江浙圖四第

產滬玉省江浙圖三第



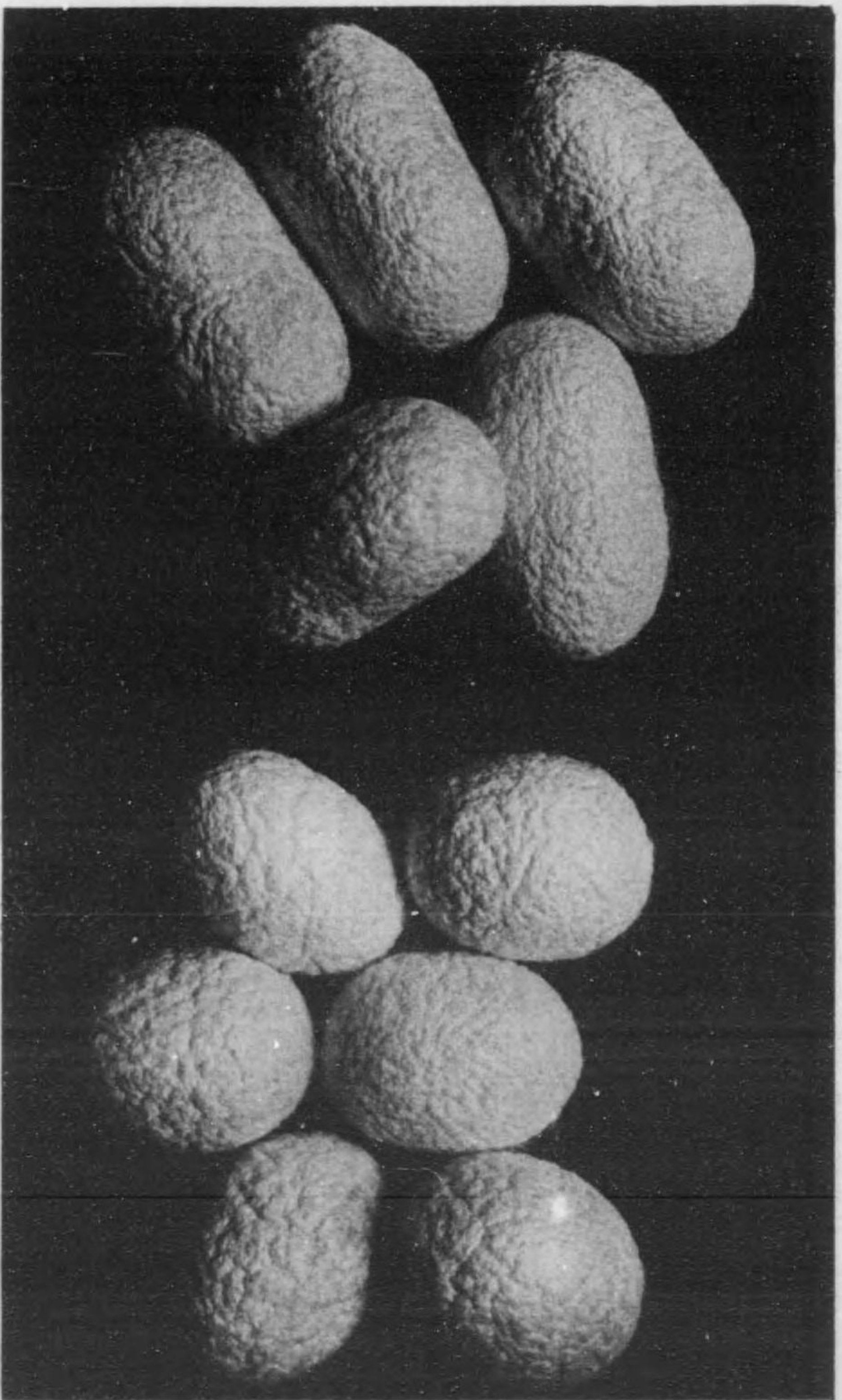
(2) 產山後省江浙 圖六第

(1) 產山後省江浙 圖五第



產州蘇省江浙圖八第

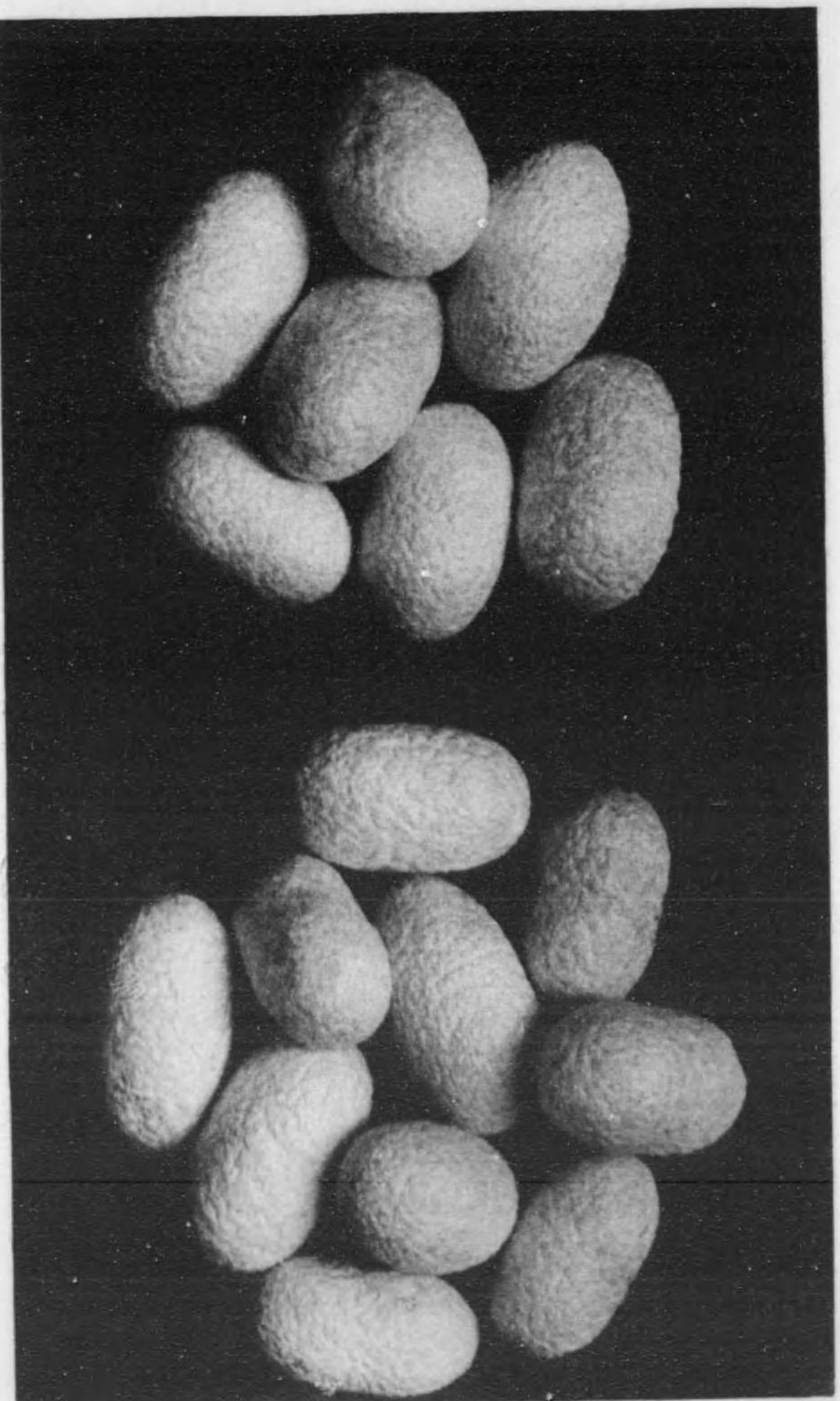
產堂華省江浙圖七第



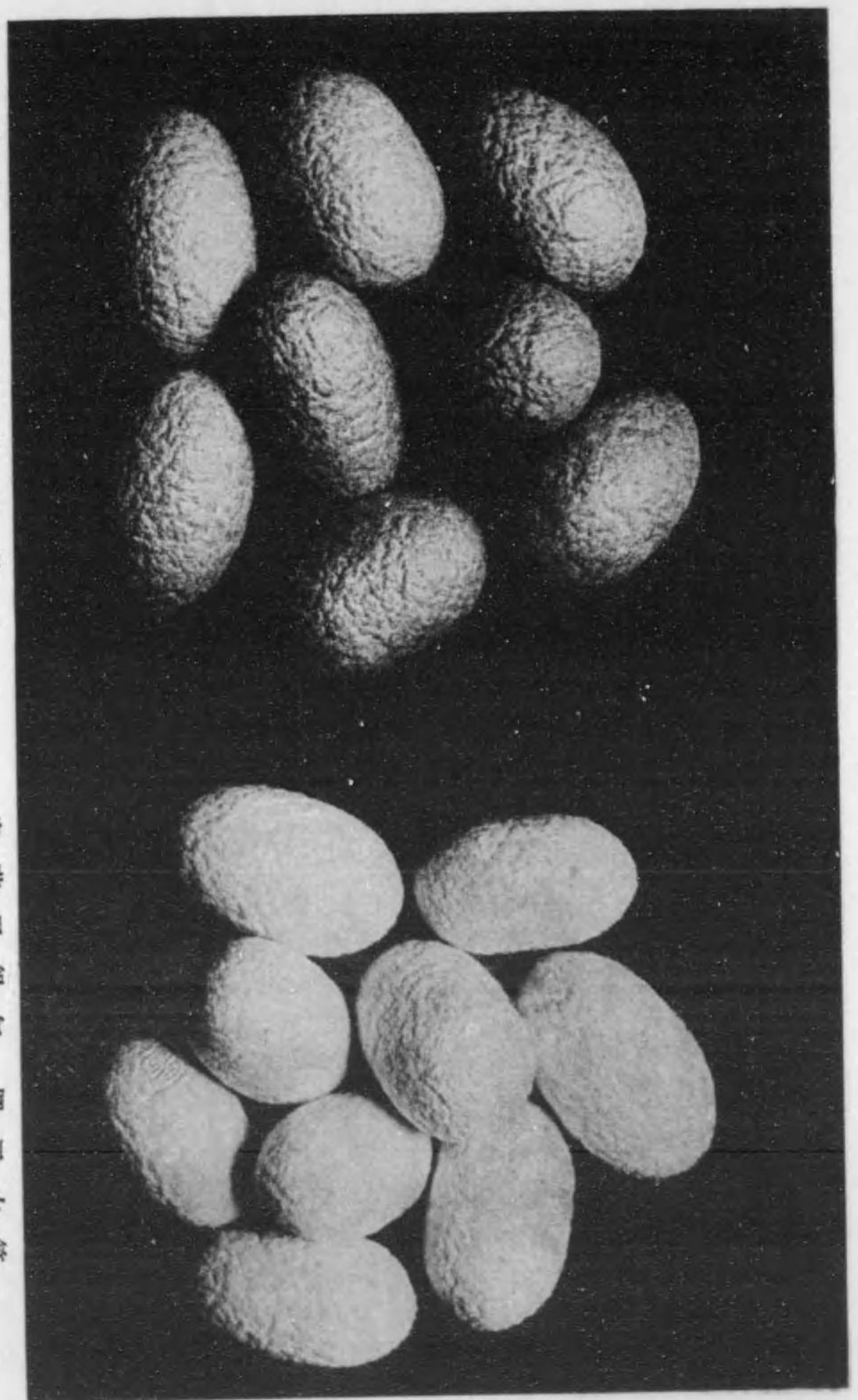
廣州抗餘新圖第十第

產製諸回桂圖九第

產橋家加錫無圖二十第

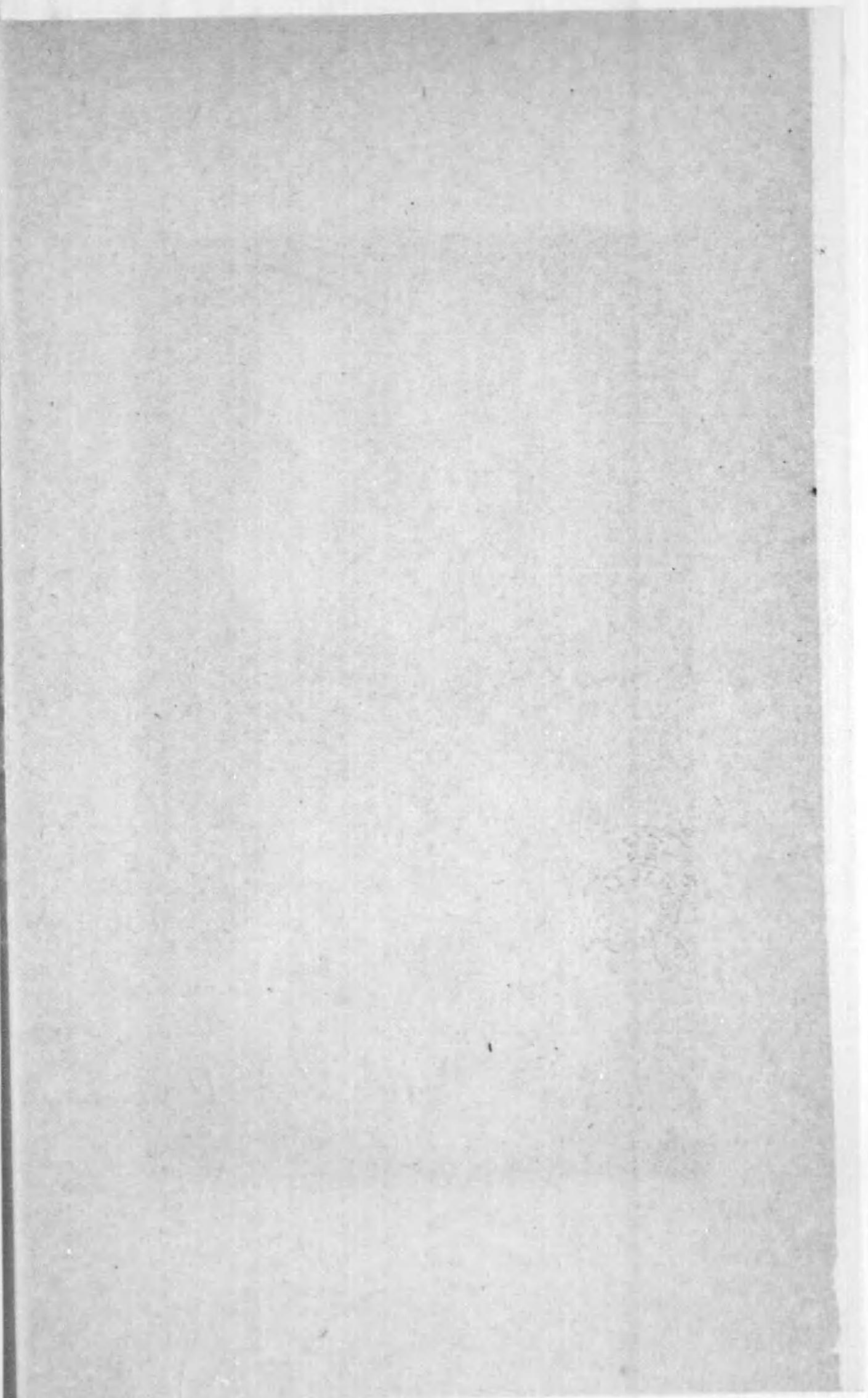


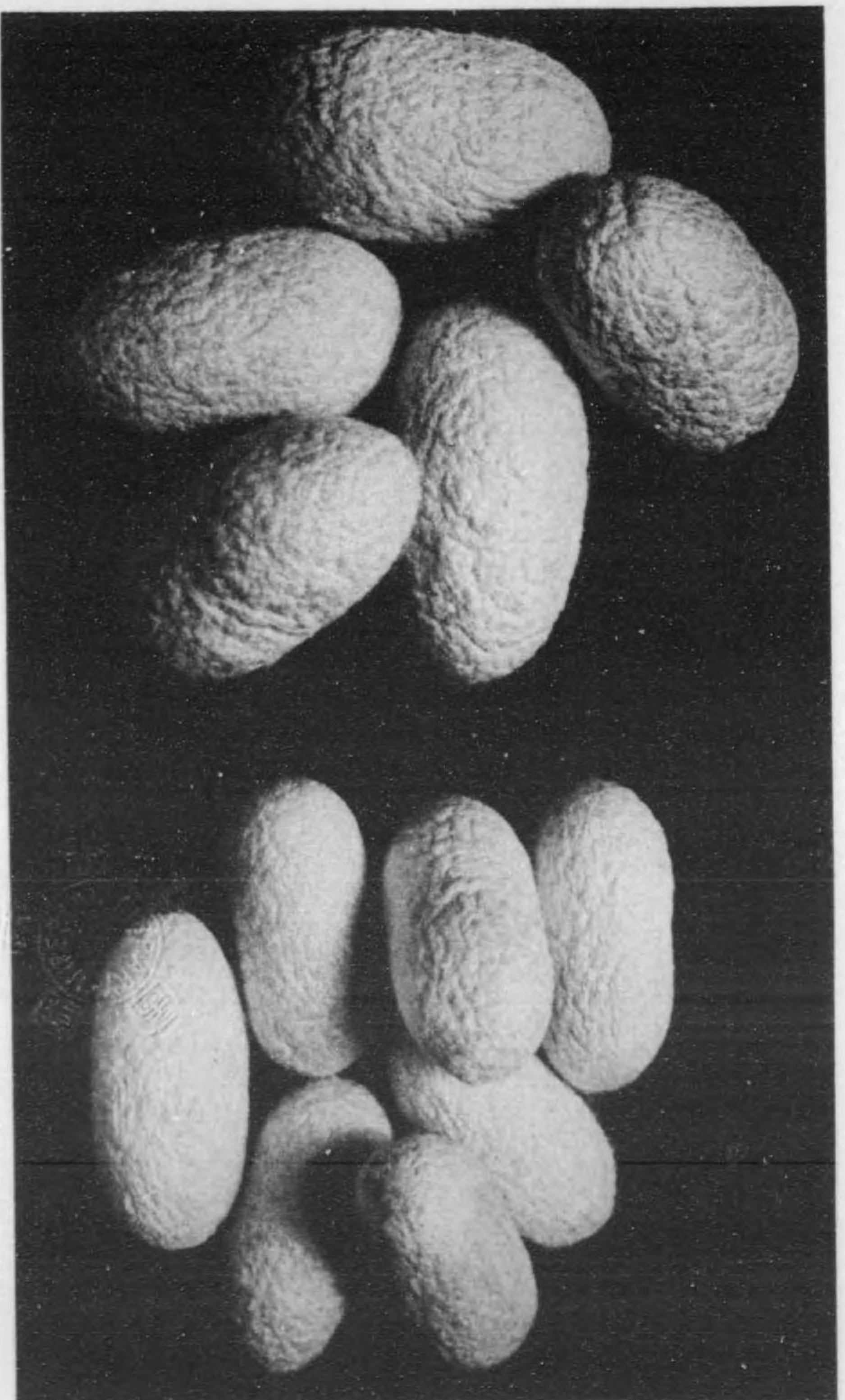
產州湖圖一十第



蘭錄心選圖四第十第

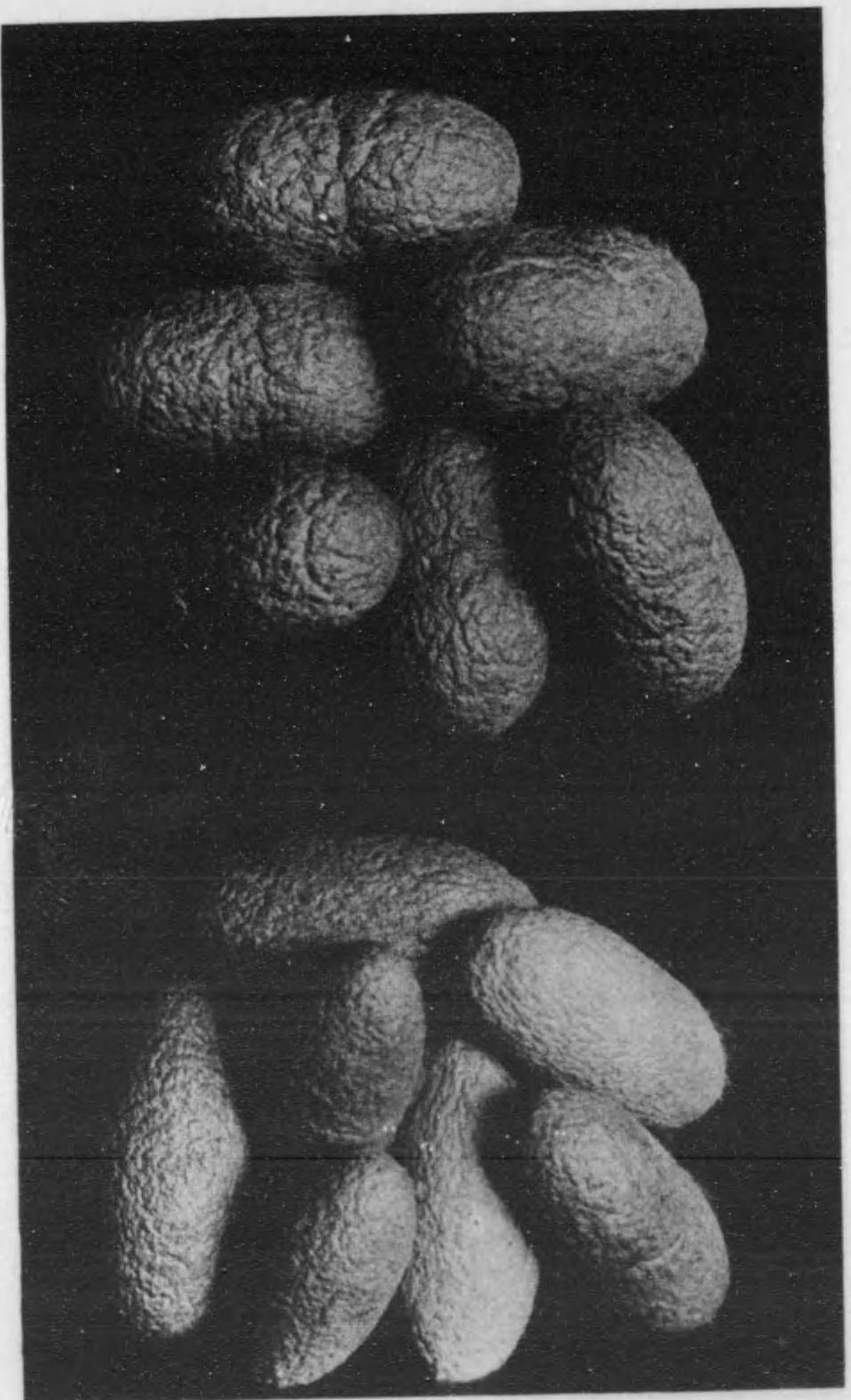
產莊玉錫無圖三十第





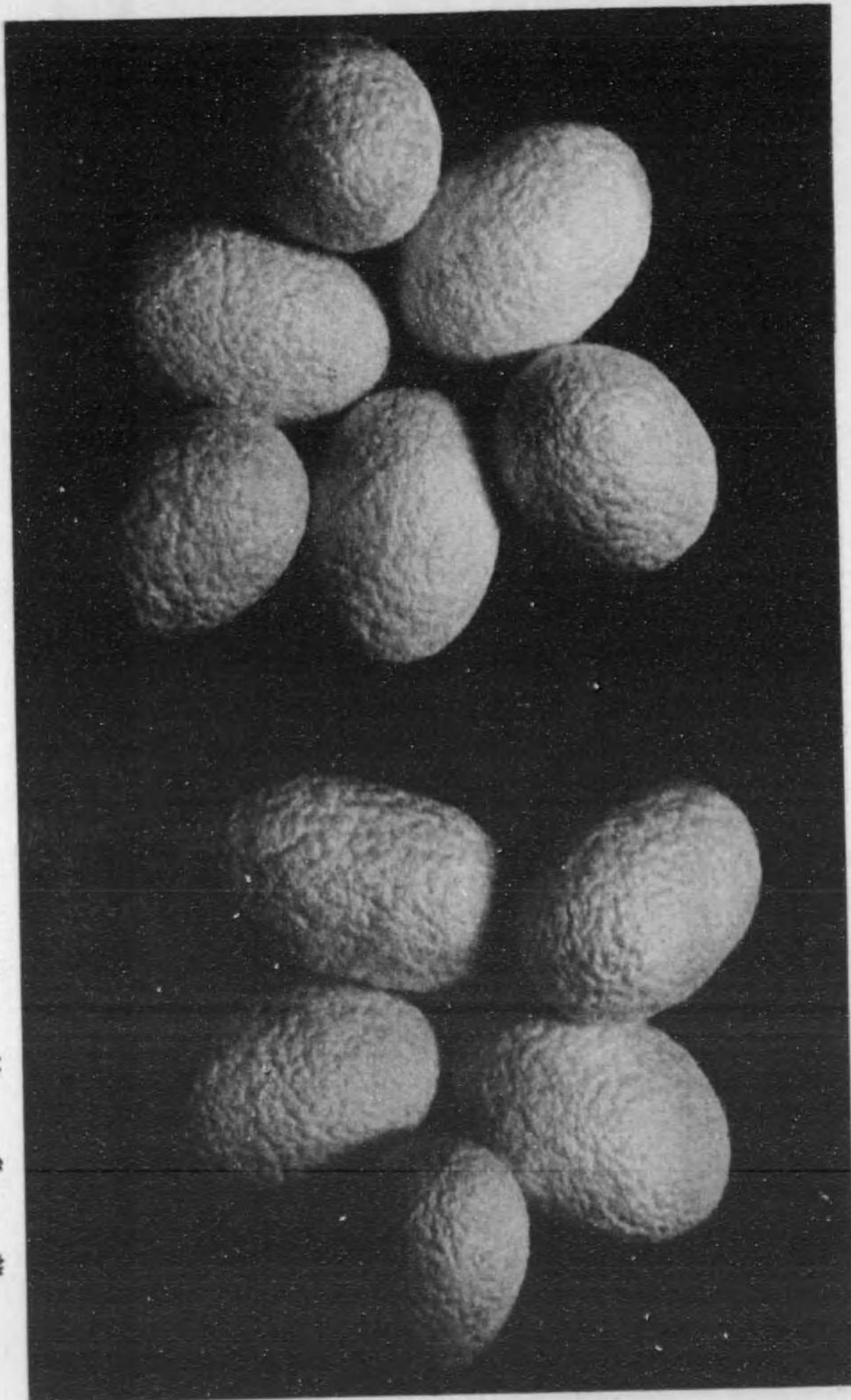
圖六十第 湖北省陽白藤

圖五十第 蘇州



圖八第十 湖北省陽桃紅色

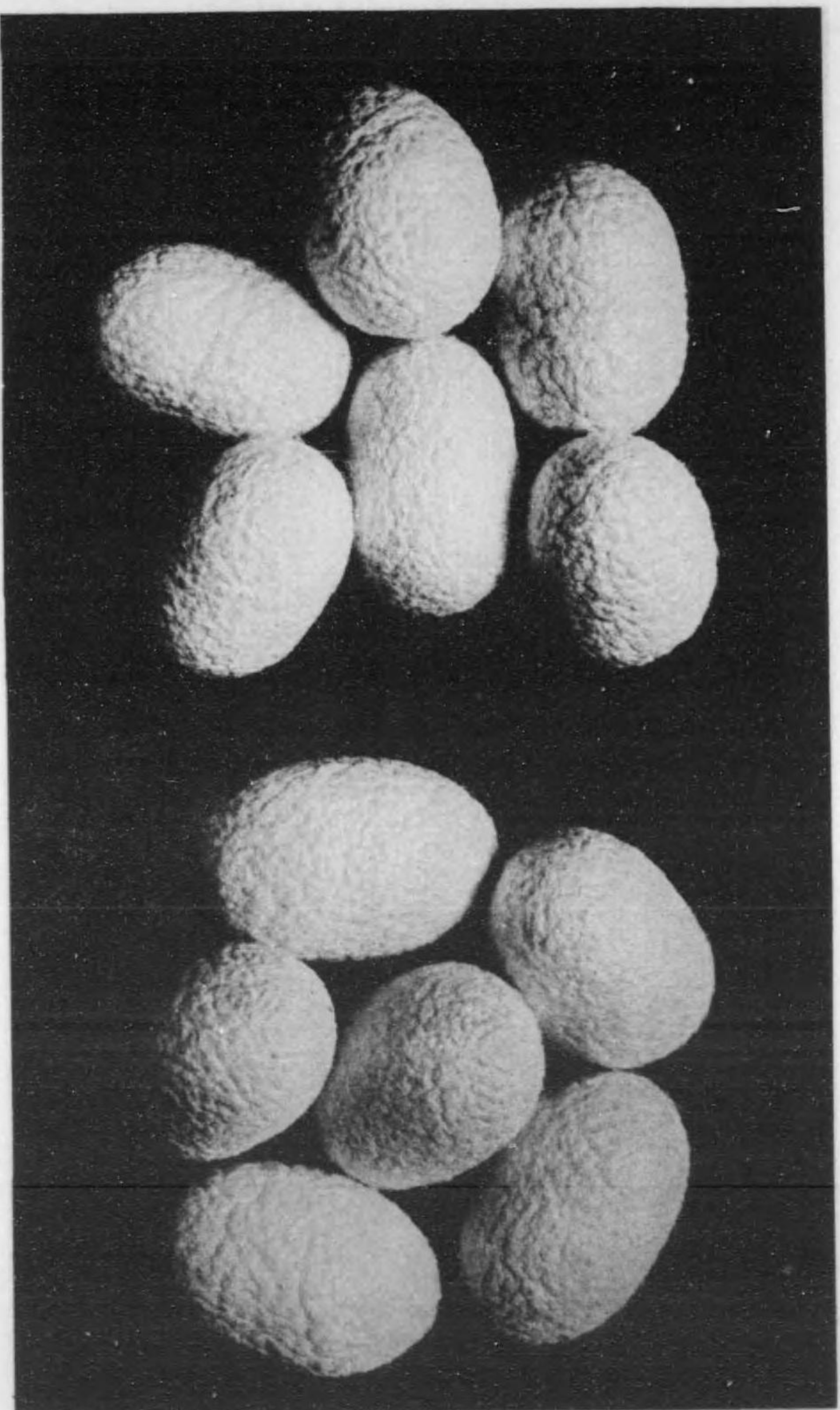
圖七第十 湖北省陽桃紅色



產 州 杭 四 大
產 州 杭 角 龍



產 州 蘇 四 新 產 州 蘇 杭 大



支那蠶業視察報告書目次

一 支那中部ニ於ケル蠶ノ種類	一
一 地方ト蠶ノ種類及其繭ノ特徴	二
一 支那蠶種製造ノ狀況	一〇
(一) 種繭	一〇
(二) 蠶種製造業	一一
(三) 種繭及蠶種ト赤紙	一三
一 養蠶組織	一五
(一) 養蠶ハ農家ノ副業	一五
(二) 蠶室及蠶具	一六
(三) 産繭賣買ノ一班	二〇
一 産繭ト地方別	五八

二

- (一) 産繭地ト繭ノ種別……………五八
- (二) 産繭額……………六〇
- 一 桑ノ種類並ニ仕立方ト地方別……………六一
 - (一) 桑ノ種類……………六一
 - (二) 仕立方……………六二
 - (三) 夏蠶ト用桑……………六四
 - (四) 栽桑ト養蠶……………六五
- 一 支那中部ニ於ケル氣象狀態……………六五
- 一 中央支那ニ於ケル蠶絲業ト外人トノ關係……………七三
- 一 支那蠶業ノ前途並ニ日支蠶業ノ聯盟……………八〇
- 繭ノ價格……………八四
- 蠶業對支策……………八八

支那蠶業視察報告書

支那中部ニ於ケル蠶ノ種類

今回余ガ視察セルハ長江一帯ノ地即チ江蘇、浙江、湖北ノ三省内ニシテ此地方ハ支那蠶業地中ニ於テ産額ヨリスルモ技術上ヨリスルモ等シク全國蠶業ノ中心ヲ以テ稱セラル、地方ナリト聞ケリ。即チ此地域ノ視察ヲ重要トセル所以ニシテ而シテ親ク此ノ地域内ニ於ケル蠶ノ種類ヲ調査セルニ繭色ニ依リテ之ヲ區別スルトキハ白色、綠色、紅桃色、黃色(肉色ヲモ含ム)ノ四種トナリ繭形ヨリ區別スルトキハ橢圓形、短橢圓形、圓形、橢圓形、兩端豐圓ニシテ僅カニ縊ヲ有スルモノ、兩端尖リテ僅カニ縊ヲ有スルモノトノ六種トナリ蟲體ヨリ區別スルトキハ斑紋ヲ有スルモノト有セザルモノト背面ニ突起ヲ有スルモノトノ三種アリ而シテ之ヲ産繭ノ分量ヨリ區別スルトキハ白色ノ橢圓形ニシテ無斑紋ノモノ大多數ヲ占メ白色ノ短橢圓形及圓形ニ近キ無斑紋ノモノ之ニ次ギ更ニ之ニ次グハ縊



實形及橢圓大形ノ紅桃色繭ニシテ綠色繭ハ又其次位ニアリテ黃繭及有突起ノモノハ其數量極メテ少ナシ

地方ト蠶ノ種類及其繭ノ特徴

現在此地方ニ行ハレツ、アル蠶ノ種類ハ何レモ古昔ヨリ支那ノ固有ニ屬スルモノニシテ決シテ他ヨリ輸入セルモノニアラズ尤モ數年前或ル日本人ノ小石丸、青熟ノ二種ヲ輸入セシ以來之ヲ掛合セタル系統種ノ僅カニ散在スルモノアルモ其數極メテ少ナキモノ、如シ是レ該系統種ハ繚ヲ有スルモノ、出ヅルヨリ先天的ニ繚ヲ有スルモノヲ嫌忌スル支那人ノ常習トテ之ヲ歡迎セザルニ由ル

勿論古來傳ハレル在來種ニアリテモ地方ニヨリテ其種類即チ繭色繭形等ヲ異ニスト雖モ而モ其地方ノ種類ハ幾百年ノ昔ヨリ毫モ異ナルコトナク今日ニ至ル迄連綿トシテ一貫セルモノ、如シ故ニ地方當業者ニ向ヒテ蠶ノ種類名ヲ問フモ別ニ種類名アランヤ是レ唯蠶ノ種子ナリト答フルノミニテ眞ノ種類名ヲ

答フルモノアラズ是レ別ニ答フ可キノ種類ナケレバナリ但シ強テ之ヲ求ムレバ適宜土地名ヲ附シテ種類名トナスニ過ギザルガ如シ是レ其地方ハ大概同一種ニシテ異ナリタル種類ナキニ由ルナリ而シテ偶々他地方ヨリ蠶種ヲ移入飼育スルモノアルモ其場合ハ其モノニ限り生産土地名ヲ蠶種ニ附スルニ過ギズト云フ、然レドモ繭色、繭形ノ異ナルハ畢竟種類ヲ異ニスルモノニシテ而シテ主ナル地方ト其繭色繭形等トノ關係及其繭ノ特徴トヲ窺フニ概ネ左ノ如シ

浙江省

嵎縣及新昌縣方面(王澤地方)

此ノ地方ハ通稱紹興繭ノ產地トシテ夙ニ優良繭ノ産出ヲ以テ支那全土ニ冠タルノ地ナリ而シテ其優良繭産出ノ地域ハ新昌縣下王澤ヲ中心トシテ周圍二十四五里間ノ土地ニシテ繭色ハ白色ニ少許ノ薄笹色繭ヲ混ズルヲ普通トシ、形狀ハ橢圓形最モ多クシテ短楕圓形之ニ次ギ稀ニ圓形ニ近キモノアルモ極メテ少數ナリトス、而シテ王澤繭ノ特徴ハ繭形大ニシテ(第一圖乃至第七圖解舒絲量多ク、絲長長ク、織度稍太ク(二、七八)強伸力強シ故ニ上海生絲ノ「グランドエキストラ」

格ハ此ノ原料ヲ以テ多ク生産セラルル而モ此ノ特長アル種類ニシテ名稱ヲ聞ケ
 バ王澤ト云ヒ、新昌ト云ヒ、曠邑ト云ヒ、后山ト云ヒ、華堂ト云ヒ、或ハ紹興ト云ヒ、只
 其飼育スル土地ノ名ヲ呼ブニ過ギズシテ蠶ノ名稱ヲ稱フルモノナキハ甚ダ異
 トスル所ナリ

諸暨縣地方

此ノ地方ハ桂種ノ產地トシテ知らレタル土地ニシテ諸桂種ノ原產地ナリ、諸桂
 (第八圖)ハ既ニ十數年來我國ニ於テモ飼育セラレタル短橢圓形ノ白繭ナリ而シ
 テ此ノ諸桂中ヨリ圓形ノモノヲ撰擇淘汰シテ桂圓種第九圖ト命名シ居レルガ
 是レ亦五六年前ヨリ我國ニ於テモ飼育セル所ノモノナリ、然ルニ前記二種トモ
 繭形大ニシテ外觀美ナルモ絲量多カラズトノ故ヲ以テ支那製絲家ノ歡迎スル
 所トナラズ前記王澤繭ニ比スレバ生繭百斤ニ對シ約五六圓ノ安價タルヲ免レ
 ズ而シテ諸暨繭ノ特徴ハ繭形大ナルニアルモ屑物多ク比較的絲量多カラズ爲
 メニ頂號(優等)絲ノ原料トシテ不適ノ傾アリ故ニ第二位製絲原料ノ格ニ坐スル
 ヲ常トス

杭州及餘杭地方

餘杭地方ニシテ生産セラル、餘杭種ハ支那種トシテ我國ニ飼育セラル、コト
 永キモ支那ニ在リテハ普通物トシテ餘リニ歡迎セラレズ、其形狀ハ橢圓形ト短
 橢圓形ノ二種ニシテ何レモ小形ナリ、然ルニ近來餘杭又ハ新餘ト稱シ兩端豐圓
 ニシテ淺キ縊ヲ有スル豐大ナル繭(第十圖)ヲ營ム種類アリ、然レドモ未ダ其數量
 少ナク殊ニ縊ヲ有スルヲ以テ絲量ハ少ナカラザルモノ、如クナレドモ或ハ支
 那人ニハ歡迎ヒラレザルベキカ、次ニ餘杭繭ノ特徴ハ海寧地方ト同ク早物トシ
 テ稱セラル、ニ過ギズシテ他ニ特徴ナク又杭州地方ノ產繭ハ湖州、蕭山地方ト
 等ク七里絲ノ原料ニ供セラル、ノミニテ他ニ特徴ナク普通物即チ二、三等絲ノ
 原料トシテ取扱ハル、ニ過ギズ

在杭州浙江省立甲種蠶業學校ニ於テ數年前本邦青熟種ノ繭ヲ前記桂圓種ノ♀
 ニ交配シ其複製シタルモノニ青桂種ト命名シテ當業者ニ飼育セシメシモ今ヤ
 之ヲ飼育スルモノナキニ至レリト、又此地方ニ於テ一般ニ飼育セラル、モノハ
 橢圓形最モ多キモ短橢圓形及兩端稍豐圓ニシテ淺キ縊ヲ有スルモノ亦尠ナカ

ラズ而シテ此ノ有縊種ノ系統ハ未詳ナレドモ或ハ日本種系ノモノニアラザル
カ記シテ今後ノ調査ニ待ツ

六

嘉湖地方

湖州及嘉興地方ハ古キ養蠶地ニシテ湖州ハ殊ニ七里絲ノ生産ヲ以テ稱サレ居
レリ此地方ハ海寧、杭州地方ト等シク火蠶ト稱シ飼育中比較的多ク火力ヲ使用
スルヲ以テ名アルモ此ノ方面ノ生産繭第十一圖ハ格別ノ特徴ナク七里絲ニ供
セラル、以外ノモノハ普通物即チ三等格ニ坐スルニ過ギズ然レドモ湖州圈内
ニアル平望地方ニ産スルモノハ繭層稍薄キモ繭形大ニシテ形狀ハ普通ノ如ク
橢圓形及短橢圓形ヲナシ繭色純白ニシテ纖維細ク上海製絲家ハ之ヲ「エキスト
ラ」原料トナシ居レリ只其生産地域廣カラズ

湖州繭ノ形狀ハ普通橢圓及短橢圓形ト又海寧、杭州等ニ産スルモノト相似タル
有縊ノモノトノ三種アリ而シテ何レモ小形ニシテ一種ノ赤味ヲ有スルヲ特異
トナス

嘉興、嘉善、平湖地方ノ産繭ハ其形狀普通ナルモ繭質稍佳良ナレバ製絲家ハ之ヲ

中細ノ原料ニ使用シ紹興、無錫ノ中間ニ位スルモノトナシ歡迎スルモノ多シ
別ニ又嘉興地方一帶ニハ古昔ヨリ綠色繭アリ其數量ハ地方全産ノ三割ヲ占ム
ルモ繭價百斤ニ就キ白繭ト比スレバ二三圓ノ低價ナルヲ以テ漸次白繭ニ移ル
ノ傾アリ然レドモ綠繭蠶ハ蟲質強ク飼育容易ニシテ之ヲ製絲スルモ絲質劣惡
ナルニアラズ而モ其低價ナルハ要スルニ數量ノ少キト絲色ノ異ナルヲ厭ヘル
習慣ニ捉ハレ居ルガ爲メナリト稱シ居レリ

江蘇省

無錫地方

此ノ地方一帶ハ養蠶ノ古キト多額ノ生産トニ依リ其名ヲ知ラレタル方面ナル
ガ生産繭ノ形狀ハ第十二第十三圖橢圓形大部分ヲ占メ僅ニ短橢圓形ヲ混ゼル
ガ何レモ小粒ニテ一見貧弱ナルガ如シ而モ其特徴ハ細及中細製絲ノ原料ニ適
シ又「エキストラ」原料トシテ歡迎セラル、ハ勿論所謂支那繭(數量ニ於テ)ノ代
表繭ヲ以テ目スベキ地位ニアリ又此地方ニ蓮心種ト稱スル綠繭種アリ蓮心ト
ハ其色ニ依リテ名ケラレタルモノニシテ嘉興地方ニ行ハル、綠繭ト蓋シ同系

七

(附記)此地方一帯ノ用桑ハ魯桑種ニシテ仕立方ハ普通拳式ノ低キ仕立方(二尺乃至三尺位)ヲナシ居レリ而シテ此地方ニハ繭形大ナル所謂紹興種即チ王澤方面ノ蠶種ヲ移シテ飼育スルモ一二年ニシテ繭形緊縮スルヲ常トスト稱シ居レリ果シテ然ラバ研究ニ値スベシ

蘇州地方

當地方モ無錫地方ト大差ナシ然レドモ蘇州繭ト稱スル一種形狀ノ異リタル(第十五圖)ノモノアリ即チ長橢圓形ニシテ淺キ縊ヲ有シ其絲量ニハ稍豊富ノモノアルモ數量ハ漸次減少シ今ヤ僅ニ其系統ヲ存スルニ過ギザルモノ、如シ洞庭方面

此ノ方面ハ湖州方面ニ供給スル桑ノ產地ニシテ養蠶ハ多カラズト雖モ縮皺ノ最モ荒キ我國ノ鬼縮種ニ似タル産繭アリ而シテ其特徴ハ纖維細ク類節少ク且ツ其手觸リノ滑カナル一種云フベカラザルモノアリト聞ク
江陰地方

此地方ハ産繭少カラズ無錫地方ノ産繭ト大同小異ナリ

湖北省

沔陽、漢川地方

本省内ニ産スル蠶ノ種類ハ我國當業者ニ未ダ多ク知ラザルモノニシテ全産額ノ約十分ノ一ハ白繭(黝色)ヲ呈セルモノニシテ十分ノ九即チ大部分ハ紅桃色繭ナリトス而シテ其白繭ハ稍短キ橢圓大形ニシテ紅桃色繭ハ其形狀ニヨリ二種ニ大別スルコトヲ得即チ中央部細ク兩端又著シク尖レル框實形ノモノト橢圓大形ノ二種ニシテ形狀著シク異ナレドモ其繭色ハ何レモ内層黄色ニシテ外層ハ最モ美麗ナル紅桃色ヲ呈シ居レリ(第十六、第十七、第十八圖)
紅桃色繭ノ特徴等ニ至リテハ從來内地ノ消費ノミニ充テ居レルヲ以テ其良否ヲ知ルニ由ナキモ手觸リ其他外觀ヨリ推測スルニ絲量ノ豊富ナルハ勿論繭質モ亦從來知り得タル支那種ノ比ニアザラルベキヲ信ズ、而シテ飼育ノ難易ニ就キ當業者ノ言フ處ニ依レバ紅桃色二種ヲ比較スルニ框實形ハ橢圓大形ニ比シ蟲質强健ニシテ減蠶數少ク又白色繭ハ橢圓大形ニ比シ大差ナシト

要スルニ中部支那三省内ニ於ケル蠶ノ種類ハ繭色ヲ大別スルトキハ白色、紅桃色、綠色ニシテ繭形ハ大小、長短アルモ之ヲ大別スレバ橢圓形、圓形、樞實形ノ三種ト中央部ニ淺キ縊ヲ有スルモノトノ四種ニ過ギズ、而シテ何レモ其性活潑其質強健ニシテ病毒其他外界ノ刺戟ニ抵抗スル力強キハ既ニ我國ニ輸入セル蠶種ニ徴スルモ明ナル事實ナリ思フニ彼ノ當業者ガ幾百年來病毒ノ驅除等ヲ施シタルコトナキモ尙且ツ連綿其系統ヲ保續シ以テ今日ノ隆昌ヲ致セル所以ノモノハ蠶ノ種類ノ性質活潑ニシテ強健ナルト蠶兒ノ壯齡ヨリ上簇期ニ亘リ養蠶ニ最モ適當セル天與ノ良氣候ニ會スルト及ビ毎年同一種類ヲ飼育スルガ故ニ能ク其ノ蠶性ヲ知り之ニ適應ス可キ取扱ヲナストノ三者自然ノ合致ニ因リ特ニ意ヲ用ヒズ力ヲ效サズ而モ農家ノ副業トシテ安全ニ養蠶ノ利ヲ收メ來レルモノト謂フ可シ

支那蠶種製造ノ狀況

(一) 種 繭

支那ノ養蠶者ハ即チ蠶種製造者ニシテ自家ノ分度ニ應ジ或ハ半斤採種、一斤採種、二斤採種、稀レニハ五斤位採種スルモノアルモ何レモ收繭ノ際形狀ノ正シキモノ及繭層ノ厚キモノヲ撰ビ而シテ其擇ミタル繭ニハ木綿絲ヲ貫通勿論其絲ハ繭内ノ蛹體ニ觸レザル様絲針ヲ以テ繭ノ一側ヲ貫クモノトスシテ約百二三十顆ヲ一連トナシ適宜ノ場所ニ數連ヲ聯ベテ懸垂シ以テ種繭ヲ保護スルヲ普通トス尤モ撰別セル繭ヲ蠶箔ニ容レテ一粒並ベトナシ蠶架等ニ載セ置キ靜ニ發蛾ヲ待ツコト我國ノ夫レト異ルコトナキ方法アルモ前者即チ懸垂法ニ依ルモノ大部分ヲ占メ居レリ、其他他人ニ賣却スルノ目的ヲ以テ

(二) 蠶種製造業

ヲ營ムモノモ之ナキニアラズ此ノ製造者ノ多キハ無錫地方ニシテ之ニ次グ紹興一帶等ガ主ナルモノニシテ其他何レノ地方ニモ多少之ナキニアラザルモ而モ共ニ自家用ニ供フルノ他ニ若干ヲ製造シテ販賣スルニ過ギズ而シテ其販賣ハ自ラ之ヲ行フモノアルモ多クハ蠶種商ノ手ニ依リ販賣セラル、ヲ以テ蠶種商人ハ産卵後間モナク即チ卵ノ未ダ變色セザルニ先チ買受ケ搬出スルモノ多

シト云フ然ルニ一ノ異トス可キハ自家用以外ヲ他人ニ賣リ渡スノ目的ヲ以テ
蠶種ヲ製造スルモノ、種繭ハ前記ノ如キ撰別ヲ加ヘズ唯死籠繭等ヲ除去スル
ノミニテ双宮繭(玉繭)ハ勿論苟クモ發蛾スルモノハ悉ク製種ニ供スルノ習慣ナ
リト云フ

産卵臺紙 蠶種ハ一枚ト稱スルモ其寸法ノ一定セルニアラズ大小區々タルハ
言ハズモアレ臺紙ノ如キモ紙ヲ使用スルモノアリ天竺木綿等ヲ用ユルモノア
リテ一樣ナラズ一例ヲ舉グレバ其面積モ支那尺八寸ニ一尺ノ小ナルナリ、一尺
二寸ニ二尺ノモノアリ、二尺四方ノモノアリ、二尺五寸ニ三尺ノ大ナルモノアリ
尤モ二尺四方及一尺二寸ニ一尺八寸位ノ紙又ハ布ヲ使用スルモノ多シ
斯ノ如クニシテ臺紙ハ廣狹區々ナルモ之ニ産付スル數量ニハ自ラ分量アリ即
チ一吊(一枚)ノ蠶種ノ産卵蛾數ハ種繭半斤附、一斤附又ハ二斤附若クハ三斤附ト
稱シ其種繭ヨリ出デタルモノハ悉ク其臺紙ニ産卵セシムルナリ故ニ蠶種一枚
ト稱スルモ種繭半斤ノ蛾ノ産卵セルアリ又ハ一斤ノ蛾ノ産卵セルアリ二斤三
斤ノ種繭ヨリ出デタル蛾ノ産卵セルモノアリテ一定セズト雖モ而モ養蠶家自

身ハ能ク其分量ヲ知悉シ居ルノミナラズ其蠶種一枚例スレバ種繭一斤ノ産卵
セル蠶種一枚ヨリハ繭百斤即チ百倍ヲ收穫スルヲ以テ普通作柄トナシ其ヨリ
以上アル時ハ上作トシ以下ヲ不作ト稱フルヲ通例トナシ居ルモノ、如シ然ル
ニ從來漫然トシテ支那蠶種一枚ハ其數量幾干ナルカ不明ナリ等ト唱ヘ居リシ
ハ皮相ノ觀察ニシテ安ンゾ知ラン支那人自身ニハ自ラ標準此ノ如キモノアリ
テ萬般ノ準備皆之ヨリ出ルヲ

(三) 種繭及蠶種ト赤紙

聞クガ如クバ古昔ヨリノ習慣ナルガ種繭ニ絲ヲ貫通シテ三十粒位ニ達スルヤ
赤色ノ紙片(方一寸二分位)一葉ヲ挾ミ更ニ繭ヲ貫フシテ又赤紙ヲ挾ミ斯クシテ
一聯ノ種繭ニハ四五片ノ赤紙ヲ挿入シ置クノ習慣アリ是レ一ツハ繭數即チ蛾
數計算ノ目標トナルモノナルモ夫レヨリハ寧ロ赤色紙ヲ以テ蠶神トナスノ迷
信ニ重キヲ置クモノ、如シ去レバコソ赤紙ハ獨リ種繭ノミニアラズ蠶卵臺紙
モ其裏面ハ全面赤色トナシ又布片ヲ使用スル場合ハ其中央又ハ上下ノ何レニ
カ赤紙ヲ貼付シ以テ其蠶神ノ守護ヲ仰ギ且ツ其蠶種ヨリ發生スル蠶兒ノ豊作

セシコトヲ祈ルトノコトニシテ我國ニ於テモ蠶種ニ神社佛閣ノ守護札ヲ添附シ養蠶家ニ配付セシ時代アリシコトヲ顧レバ實ニ面白キ對照ナリト謂フ可シ更ニ一奇ハ其掃立ニ至ルヤ黃繭ヲ結ブ可キ蠶兒即チ黃血ノ蠶兒ヲ掃キ込ミ是ガ蠶神トナリテ同箔中ノ蠶兒ヲ守護スルトノ信念ヲ有スルコト別項記載ノ如クニシテ支那養蠶家ノ繭中ニハ何レモ少許ノ黃繭ノ混交セザルモノナシ故ニ一見シテ蠶種類ノ雜駁ヲ云フモノアレドモ實ハ種類ノ雜駁ナルニアラズシテ何レノ養蠶家モ別ニ黃繭種ノ一、二蛾分ヲ採種シ置キ掃立ノ際之ヲ掃キ込ミ飼育スルノ習慣ニ外ナラザルナリ

古來支那養蠶者ハ蠶神ヲ敬フノ念厚シトノコトナルガ余ハ竊ニ思フ支那蠶業ノ連綿トシテ今日ニ至リタル要素中ニハ斯ノ敬神ノ念ノ厚ク且ツ存スルガ爲メナル事モ之アル可シ何トナレバ種繭及蠶種ニ赤紙ヲ貼附スルガ如キ兒戲的敬神ハ兎ニ角トシテ愈々其蠶兒トナリシ場合黃血蠶兒ヲ蠶神ニ擬シ之ニ向ツテ厚キ敬意ヲ捧グルノ一事ハ即チ萬事ニシテ之ヲ或ル蠶婦ニ聞ク蠶神ノ在ル間即チ飼育中ハ臭氣ハ勿論勉メテ不淨不潔ヲ避クルハ蠶神ニ對スル最モ重キ

行事トシテ毎戸之ヲ嚴守ス故ニ蠶沙ハ堆積セズ蠶架下ノ掃除モ怠ラズト、斯ノ如クニシテ自然ニ蠶座モ蠶室モ其清潔ニ努ムルコト一般ノ風習ヲナシ現ニ余ガ五齡末期ニ於テ或ル貧シサウナル小養蠶家ヲ觀察セル際ノ如キ其蠶座及室内ノ清潔ナリシハ實ニ想像ノ外ニアリタリ謂フマデモナク支那ニハ幾百年來蠶種検査ノ行ハレシニアラズ又蠶室蠶具ノ消毒ヲ行ヘルニアラザルモ種繭一斤ニ對シ繭百斤ヲ收穫スルヲ以テ普通作トナスガ如キ成績ヲ擧ゲツ、アルハ斯ノ敬神ノ一念凝ツテ大消毒トナリ不斷ノ病毒驅除トモ豫防トモナリ居レルノ結果ナルヲ信ゼザル可カラズ

養蠶組織

(一) 養蠶ハ農家ノ副業

支那ノ養蠶ハ純然タル農家ノ副業ニシテ之ニ當ルモノハ各家何レモ婦人ニシテ稀レニ五齡ニ至リ男子ノ之ヲ補助スルモノアルニ過ギズ而シテ其收繭量ハ親ク十數ヶ所ノ繭行ニ就キテ養蠶家ノ搬入シ來リタルモノヲ見ルニ大養蠶者

ト稱スルモノニシテ尙三百斤ニ達スルモノ極メテ稀レニシテ三四十斤乃至百斤位ヲ收購セルモノ大多數ヲ占メ其少キハ僅ニ二十斤即チ三〇目位ニ止マレルモノヲモ數人認メタリ以テ一戸當リノ產繭ガ我國ノ其レヨリ遙ニ少キヲ知ルベク從ヒテ眞ニ農家ノ副業タル本領ヲ失ハザルモノ、如シテ此レガ用桑ハ多クハ自家ノ栽桑ヲ以テスルモ稀ニハ自家ニハ僅少ノ用桑アルニ過ギザルニ之ヲ超ヘタル掃立ヲ敢テシ始ヨリ他人ノ桑葉ヲ購入スルノ目的ヲ以テ養蠶スルモノアリテ我國ノ其レト異ナラズ爲メニ各地ニ桑行ナルモノアリテ盛ニ賣買ノ仲介ヲナシ居レリ

(二) 蠶室及蠶具

蠶室トシテ特ニ構造セルモノヲ見受ケズ何レモ居室ノ兼用ニシテ其構造ハ別ニ床ヲ設ケズ總テ土間ニシテ其四周ハ練瓦造リ、瓦葺家根ニシテ表裏ニ出入口ヲ開キ其他側面適當ノ所ニ數個ノ窓戶ヲ附設スルニ過ギザレバ本邦人ノ一見スルヤ換氣裝置ノ不備ト床ノ設ケナキトニ驚キ如何ニモ不完全ナル構造ノ裡ニ養蠶ヲナスモノ、如ク感ジテ動モスレバ飼育甚ダ幼稚ナリ支那ノ蠶業採ル

ニ足ラズト言說スルモノアルモ此ハ思ハザルモ甚ダシト謂フベシ、何トナレバ支那ノ養蠶室ハ即チ人間ノ居室ニシテ一家五人乃至十二三人ノ居室トナシ何等支障ナキ程度ノ換氣行ハルバ處ナレバ此處ニ少數ノ蠶兒ヲ飼育スルコトハ本邦蠶室ノ如キ格別ナル換氣裝置ヲナサザルモ能ク其飼育ニ勝フ可シ而シテ支那ノ家屋ノ常トシテ何レモ床ノ設ケナケレバ土間ニ蠶架ヲ置キテ飼育シ上簇ノ際ノ如キモ無造作ニ土間ニ藁ヲ敷キテ其上ニ簇ヲ立テ上山セシムルヲ常トナスモ亦何等支障ナク相當ノ結繭ヲナシ居レリ

上簇ニ就キ本邦人中支那ハ飼育拙劣ナルモ上簇ニハ頗ル注意シツ、アリ即チ上簇架下ニハ火ヲ置キ以テ乾燥ヲ圖ル云々ト評セシモノアルモ若シ之レアリトスレバ火蠶飼育地ノ一部ニ於テ斯クナセシモノアリシヤモ知レザレドモ支那養蠶地ノ大多數ノ養蠶者トシテハ決シテ飼育中ハ勿論上簇期ニモ火ヲ用ユルコトナク全ク自然ノ温濕度中ニ養蠶工程ヲ始終スルモノ、如シ蓋シ支那ノ家屋ハ本邦ノ家屋ニ比シ温濕度ノ調節頗ル易ク即チ外氣温高マルモ室内ハ容易ニ高マラズ之ト等シク若シ外氣著シク低下スルモ亦室内温度ハ容易ニ低下

セザル構造ニシテ加フルニ支那養蠶ノ天恵トモ稱スベキ適當ナル氣象ノ裡ニ
而カモ少量ノ養蠶ヲナスニアルヲ以テ現在ノ家屋構造ニテ何等不足ヲ感ゼザ
ルモノ、如シ、唯分度ニ過ギタル多量飼育ヲナス場合ニ於テ往々軟化病等ヲ多
發スルコトアリト云フ

尙茲ニ附記スベキハ養蠶家ガ他人ニ其飼育狀況ヲ見ラルルコトヲ嫌忌スルノ
一事ナリ、余ハ渡支ノ日後レタルガ爲メ稚蠶中ノ實況ヲ知ルニ由ナキモ五齡期
ノ實況ヲ見且ツハ當業者ニ聞ケルニ壯蠶ニ至リテモ他人ヲ室内ニ入ル、コト
ヲ嫌忌スルハ事實ナリ只稚蠶期ノ如クハ甚シカラズト云ヘリ、而シテ其稚蠶期
ニアリテ他人ノ室内ニ入ルコトヲ避クルハ久キ因襲ノ固定シタルモノニシテ
獨リ他人ノミナラズ自家々族ト雖モ猥リニ出入セザルヲ常則トナシ居ルモノ
、如クナレバ強チ他人ヲ猜スルニアラズ蠶室ノ安靜ヲ期スルモノ、如クナレ
バ之ヲ嫌忌スルハ寧ロ飼育上當然ノ措置タルベキカ、蓋シ支那ノ飼育ハ概シテ
我國ノ如ク給桑回数多カラズ給桑回数ハ少キハ一日三回多キハ六回アリテ一
定セズ要スルニ其時ニ應ジテ給桑ス而シテ稚蠶期ヨリ壯蠶期ノ方比較的其回

數ヲ多クスルモノアリ加フルニ氣候ノ乾燥甚ダシキコトアルヲ以テ若シ關係
ナキモノガ猥リニ出入センカ桑葉ノ萎凋速ク延ヒテ桑不足トナリ更ニ蠶兒ノ
不齊トナリ面白カラザル結果ニ至レル經驗ハ支那養蠶家ノ夙ニ知悉セル所ニ
シテ乃チ之ヲ避ク可ク何時シカ他人ノ猥ニ室内ニ入ランカ蠶神ノ怒ニ觸ル可
シト稱シ而シテ夫レガ一般ノ慣例トナレルモノニシテ忌避ノ巧妙驚クノ外ナ
シ

蠶具 余ガ視察セル範圍ニ於ケル一般養蠶家ノ使用スル蠶架ハ三脚架ニシテ
大小二種アリ即チ稚蠶中使用ノモノハ徑二尺八寸位ノ圓座ヲ載スルニ適當ナ
ル大サヲ有シ壯蠶用ノモノハ徑四尺乃至四尺五寸位ノ圓座ヲ載スルニ適セル
大サノモノヲ使用スルニアリ而シテ蠶架ノ用材ハ三脚柱ハ何レモ木材ヲ使用
スルモ棚段ハ丸竹ヲ使用スルアリ又木材ヲ用ユルアリテ一樣ナラズ又棚段ハ
脚ノ最下部即チ土間ヨリ一尺乃至一尺二三寸上リタル處ヨリ六段乃至八段ヲ
設ケ其段ト段トノ間隔ハ七寸乃至八寸位ノモノ多キモノ、如シ
蠶箔ハ稚蠶用ト壯蠶用ト大小ノ差コソアレ何レモ全部竹製ノ圓座ニシテ底ハ

肉竹ヲ以テアジロ編ミニシ邊ハ一寸位ノ高サニ編ミ上ゲ之ヲ卷クニ簾ヲ以テス

除沙ニハ蒲草ノ如キモノニテ編ミタル除沙網ヲ使用スルモノアリ
簇ハ長サ二尺位ノ一握リノ藁ノ中央ヲ緊縛シ之ヲ捻リテ其擴ガリタル一方ヲ脚トシ立テ併ベテ一方ノ上部ニ營繭セシムルモノ大多數ナリ
斯クテ各養蠶家ノ使用スル蠶箔蠶架及簇ハ其材料構造殆ンド一定セルモノ、如シ

(三) 産繭賣買ノ一斑

産繭ノ賣買ハ我國ノ其レト趣キヲ異ニシ收繭ノ時期ニ至レバ一定ノ資格アルモノ即チ所定ノ税金ヲ納付シテ知縣ノ免許ヲ受ケタルモノ、開設スル繭行ナルモノアリ、養蠶家ハ其收繭ヲ齎シテ隨時任意ノ繭行ニ至リ價格折合フ時ハ之ヲ其繭行ニ賣渡シ若シ折合ザレバ又他ノ繭行ニ持チ行キテ賣却シ直ニ通貨即チ弗金ト交換スルノ組織ナルヲ以テ其時期ニアリテハ幾多養蠶家ガ各自ノ繭ヲ繭行ニ搬入スルガ爲メ往來織ルガ如ク繭行附近ハ殆ド通行ノ自由ナラザル

ノミナラズ各繭行ノ雜鬧ハ實ニ名狀スベカラザルモノアリ左ニ繭行ノ開閉及繭取引ノ實況ヲ記シ今後支那繭ヲ購入セントスル當業者ノ參考ニ供スベシ

(イ) 繭行開設者ノ資格

江浙皖ノ三省内ニ在リテハ隨時繭行ヲ開キテ購繭セントスルモ之ヲ許サズ既設繭行ヲ總括スルニ三省ノ繭行總公所アリ各縣ニ繭行公所及分公所アリテ先ヅ之ガ承認ヲ受ケ後チ知縣ノ免許ヲ受クルニアラザレバ新タニ開設スルコト能ハザルノミナラズ之ガ開設ニハ年々左ノ如キ諸税ヲ納入セザルベカラズ

繭行一ヶ所開設ニ要スル諸税及雜費

一百元

知縣へ納入

但小繭行ハ五十元

一百元

董事(本邦ノ村長ノ如キモノ)へ納入

一五十元

小董事(同 區長ノ如キモノ)へ納入

一三十元

家屋税(大租)知縣へ納入

一二元五十仙

同 (小租)賦課税)知縣へ納入

一二十元 警護費
一二十元 同酒代

計三百二十二元五十仙

外百元乃至百二十五元 諸雜費

合計約四百五十元

以上ノ如ク一繭行ノ開設ニ就キ大繭行ニアリテハ毎年約四百五十元ヲ要シ小繭行ニ在リテモ尙四百元ヲ要スルヲ以テ到底小資本家ノ能クスル所ニアラズ
附記大繭行トハ乾燥灶數二十四以上ヲ有スルモノヲ云ヒ二十四以下ヲ小繭行ト稱シ居レリ

(ロ) 繭行ノ設備

繭行ニハ必ズ乾燥ノ設備アリ日々數萬斤ノ生繭ヲ購入シ直ニ半乾燥ヲ行ヒ(時ニ本乾燥ヲ行フモノモアリ)後順次本乾燥ヲ行フモノ多シ故ニ繭行ニハ購入豫定數量ニ對スル乾燥設備アリテ其灶數ノ多キハ八十餘灶(一灶ハ百二十斤入)ニ達スルモノアリ而シテ一般ニ繭行ハ取扱場所ノ廣キヲ要スルガ故ニ多クハ地

方ノ酒造家若クハ富豪之ニ當リ然ラザレバ其家屋ヲ借り受クルモノアレドモ稀レニハ繭行ノ爲メニ數萬圓ヲ投ジテ特ニ新設セル規模ノ頗ル宏大ナルモノアリ(無錫縣天下市黃新橋ニ在ル金禮和繭行ノ如キ是ナリ)

(ハ) 繭行開始前ノ協議及其効果

毎年期節ニ至レバ各縣繭行公所及分公所ニ繭行業者及上海製絲家會同シ其地ニ於ケル繭行開始期日及繭價ヲ協定シ以テ步調ヲ一ニス可ク努メツ、アリ然ルニ繭行開始期日ハ確實ニ之ヲ實行シ敢テ背クモノナキモ價格ノ協定ニ至リテハ殆ンド無意義ノモノニシテ現ニ本年或ル縣ノ繭行公所ノ協定セル價格ハ百斤五十四圓ナリシガ其翌日開始スルヤ平均五十九圓ヲ買ヘルガ如キ繭行アリシモ敢テ之ヲ怪マザリシ尤モ此ノ協定繭價ナルモノハ其年ニ於ケル一ノ標準ニ過ギズ故ニ其標準ニ近キト遠キトハ深ク拘ハル可キ問題ニアラズトナスモノ、如シ

(ニ) 繭取引ノ狀況

區域廣大ナル三省内ノコト、テ取引上多少異ナル處アルベキモ左ノ如キモノ

最モ多シ

取引ハ總テ斤量取引ニシテ單位ハ一斤トスルアリ又百斤トスルモノアルモ小養蠶家ハ多ク一斤ヲ單位トシ大養蠶家ハ百斤ヲ單位トナシ繭行及製絲家側ニアリテハ百斤ヲ單位トナスヲ常トスルモノ、如シ故ニ乾繭ニ對シテモ生絲ニ對シテモ百斤即一擔ヲ單位トシテ計算スルヲ例トス尤モ養蠶家側ニ在リテハ地方ノ異ナルニ依リテ同ジカラズ等ク一斤ト稱スルモ普通ノ百六十匁ヲ一斤トスル所アリ又百六十八匁ノ所アリ百五十三匁ノ所アリ更ニ又二百匁ノ處アルモ一局部ニ過ギズ而シテ繭行ノ大小ニ依リ其ノ數一樣ナラザルモ秤リ場ハ一ヶ所毎ニ秤リ方一人ニ繭鑑定人一人附屬スルヲ常トシ一繭行内ニ數個ノ秤場ヲ準備シアリテ養蠶家ノ持込ミ來ルモノハ先ヅ繭行備置ノ容器(風袋ヲ調査シアルモノ)ニ入レ替エ鑑定人ノ受ケテ鑑定シ夫ヨリ秤リ方ニ渡シ高聲ニテ衡量ヲ呼ビ上ゲ續テ繭價ヲ呼ビ上グ而シテ之ヲ呼ビ上グレバ傍ラニ書記アリテ直チニ買入ノ記載ト傳票ヲ作製ス若シ此際呼ビ上ゲタル衡量及價格ニシテ養蠶者ノ意ニ滿タザル時ハ直ニ之ヲ取消シ元ノ容器ニ移シテ他ノ繭行

ニ持込ミ可成高價ニ賣ル可ク努ムルモノ、如シ然レドモ其價格折合フ時ハ直チニ傳票ヲ受取リテ現金拂渡所ニ至リ傳票ト弗金トヲ引換ヘ得々歸宅スルコトナルガ此等養蠶家ノ持込ム數量ハ多キハ稀レニ數百斤ノモノアルモ少ナキハ五斤位(見本トシテ持參セルモノ)ノモノアレドモ五六十斤ノモノ最モ多キガ如シ而シテ持込ミ來ルニモ男女相半スル所アリ例バ繭ノ運搬ハ男子之ニ當リ繭代金ノ收受ハ婦人之ニ當リテ如何ニモ是レ婦人ノ手ニ依リテ成レル繭ナレバナリトノ感ヲ起スト共ニ支那ノ婦人氣質ヲ偲バシム更ニ記シ置ク可キハ繭ノ鑑定人ト秤リ方トノ關係ニシテ鑑定人が普通ヨリ著シク劣ルカ著シキ優品ナリト認メザル限リハ秤リ方ニアリテ衡量ト共ニ價格ヲ指定スル仕組トナリ居レリ此ノ鑑定人ノ鑑定ヲシテ極メテ概括的ナラシムルハ異様ナレドモ鑑定人ニシテ若シ一々品位ニ依リ價格ヲ定ムルガ如キコトヲナサンカ養蠶家ハ之ヲ厭ヒ其繭行ヘハ繭ヲ持込マザル風習アリ故ニ止ムナク鑑定ハ殆ド名ノミニシテ優劣共ニ極端ニアラザレバ普通品トシテ取扱ハザルベカラザル事情ニアルモノ、如シ

更ニ地方ノ異ルニ依リ繭行内ノ組織ニモ亦多少異ル處アリ即チ秤リ方ト鑑定トヲ同一人ニテ行ヒ量目ト價格ヲ呼ビ上グル仕組ノ處アリ斯クシテ取引シタル繭ハ其儘第二ノ秤リ場ニ送り再秤ヲ經テ後藏入レヲナスノ順序ニシテ大ナル繭行ニハ百數十人ノ人夫ヲ使役スル所アリテ其盛ナルコト想像ノ外ニアリ秤量ニ用ユル衡器ハ斤量目盛トナレル舊式ノ衡器ヲ用フ若シ之ヲ用ヒズボンド衡等ヲ使用スル時ハ養蠶家ニ之ヲ喜バザルノ風習アルニ依ル各繭行其表而ハ双宮繭一切不收ト大々廣告ヲナシ居レドモ實際ノ取引ハ然ラズ何レモ双宮繭即チ同巧繭込ニテ取引スルノ習慣ニシテ如何ナル繭行モ此ノ習慣ニハ從ハザルヲ得ザルモノ、如シ

又各繭行前及混雜セル取引ノ傍ニハ必ズ二三名ノ銃劔ヲ帶ビタル兵卒警護ス是レ繭行ニハ大金ヲ持込ミアルヲ以テ不時ノ強盜ニ備フルガ爲メナリ又繭代金ハ總テ弗銀ヲ以テ支拂フガ故ニ其金ノ運搬中モ亦巡警及兵卒之ヲ護衛スルヲ以テ一見シテ物々シキモ支那ノ強盜ハ一人二人ニアラズ武器携帯ノ數十人大舉シテ襲來スルコト多シト云ヘバ斯ル警護モ亦必要ナルモノ、如シ

取引時間ハ一定セザルモ多クハ午前六時ヨリ午後七時頃迄ヲ普通トナスモノ、如シ然ルニ朝ハ午前三時頃ヨリ門前早クモ繭賣人ヲ以テ充タサレ繭行ノ周圍ハ軒下ト云ハズ路上ト云ハズ何レモ繭ヲ頭邊ニ置キ地上ニ轉寢シ以テ開門ヲ待ツ其狀一種ノ奇觀タリ

左ニ參考ノ爲メ江浙皖三省内ニ於ケル繭行ノ地趾及所有者並ニ乾燥器數ヲ列記スベシ

(ホ)繭行ノ地趾及開設者並ニ乾燥器數

江蘇省無錫縣繭行		乾燥器數	
繭行名	繭行地趾	繭行名	乾燥器數
無錫市			
洽盛	五桐橋	平和	二二
永泰隆	日暉橋	瑞華	五二
人和	南水仙	新盛	二八
同福昌	南棉花巷	高義茂	四八
		南尖	四〇

恒泰	乾順	永通順	豐泰潤	薛公昌	恒泰昌	通和祥	黃公和	公利	顧公順	裕豐恆	允濟	叙誠和
前洲	北新橋	北莊	同	禮社	新橋	北七房	五收	同	玉祁	青城市	古莊	長安橋
一四	一六	四	一二	二二	二四	二八	五二	一二	六四	一二	一二	一二
永益	保昌	保常	成昌	乾盛	載源昌	永和裕	候亦昌	增益	嚴廣茂	和成	永豐昌	永昌祥
石幢	前州	前州西塘	前州	秦巷	載巷	同	禮社	石幢	五收	黃石橋	同	黃石橋
二九	二二	一〇	一八	三三	五〇	二八	二二	三四	五二	一一	四〇	一〇
二二	二二	一〇	一八	三三	五〇	二八	二二	三四	五二	一一	四〇	一〇

鴻順	蔡合利	金禮和	寶成興	興昌	恆豐	春源	公和永	乾昌	餘昌	乾餘	豐亨豫	裕泰
嚴球	石新橋	黃新橋	顧橋下	亭子橋	五洞橋	同	南水仙	黃婆墩	北長街	通運橋	伯瀆港	亮壩上
二〇	四八	六〇	八	八	一二	一六	二八	八	一二	一〇	一六	一〇
聚昌隆	永豐	成銓	惠祥泰	邵義昌	永泰豐	過間順	公益昌	增源	怡成昌	公信成	恆昌裕	萬銓
毛竹橋	濟塘橋	劉潭橋	八士橋	毛竹橋	西河頭	宗巷	太平橋	東房橋	三房橋	西河頭北莊	在房橋	劉潭橋
八	一六	八	八	二四	四六	六〇	二〇	一一	一一	一六	一一	二〇
八	一六	八	八	二四	四六	六〇	二〇	一一	一一	一六	一一	二〇

陸昌	通裕	通義	濟源	乾豐	仁昌	萬安市	協成	恆昌祥	錦榮	鼎豐	張錦昌	協興恒	永泰生
葑莊	潘葑	同葑	搖頭濱	葑莊	洛江		大鴻橋	察亭橋	新瀆橋	盛店橋	張華橋	西漕	陸區橋
五六	六四	一六	二八	四四	八〇		八	一〇	一六	一六	二八	四	一〇
開原鄉	裕泰	洽源	乾成	世昌洽	茂昌	匯過	大昌	泰昌	寶昌	利豐	和豐	公和震	源通
	鵝子岸	張鎮橋	下泉	同	同	新蠶口橋	大孫巷	新開河	社埽	楊墅園	洛社	高明橋	南西潭
	一二	一六	二四	一六	一六	一六	一二	一〇	一〇	一四	三〇	四〇	二四

廣裕	盈億	永利	利生	公泰隆	源益	九豐	通源	廣豐	陞昌	協成	永泰祥	李廣成	天上市
丁培里	長安橋	寺頭	旺莊	寺頭	蘇家橋	張村	北西潭	麻圪	姑亭廟	胡家渡	前站頭	堰橋	
二	一四	一二	一六	四二	一六	八	二	二	一二	二	三六	六〇	
泰源	乾昌	榕大	有成	唐瑞和	德和永	濟成	賈協和	永泰和	孫德盛	其恒	富安鄉	集成	錫裕
察亭橋	丁村	稍塘橋	張舍	黃大岸	陸區橋	富岸上	同	同	胡埭	大鴻橋	堰橋	楊巷	
一二	六	二〇	二八	二二	一〇	一四	八	四二	二四	二〇	二二	二二	

利恆	恆興	懷上市	公和泰	公泰祥	錫昌	綸和成	公泰和	公綸	泰綸	義源	蔡鴻運	義昌	鴻聚
陳家橋	張涇橋		毛道橋	東亭	梅村	東亭	石埭橋	九里橋	梅村	查家橋	西倉	東亭	新塘橋
四〇	一四		二〇	四〇	一〇	一四	四〇	一六	一六	五〇	一〇	三六	四〇
怡利	公泰康	過協昌	恆和	元仁	成裕	恆德隆	仁昌祥	恆豐裕	恆源豐	恆昌	恆益	元記	顧東新
東八士橋	蠶涇	八士橋	張繆舍	八士橋	東湖塘	晃山橋	陳墅	東湖塘	港下	黃土塘	張涇橋	三壩橋	戴店
一六	三六	四〇	二四	一六	二〇	二〇	二八	一六	二〇	二四	四〇	四八	二〇

裕和	周公興	公泰豐	永泰昌	開化鄉	恒益	九昌	興昌	徐公興	綸源	振業	綸餘	裕昌	林公益
宅基上	薛鐵巷	周潭橋	石塘橋		六開	會龍構	錢橋	徐巷	藕塘橋	河埭口	榮巷	藕塘橋	仙女墩
四	一八	四八	四〇		二〇	二〇	三二	二八	一六	一二	一二	二四	三二
北下鄉	浦協昌	鴻昌	華勤益	浦順成	雙姓	浦公和	周公和	滕震昌	開泰	北上鄉	公益泰	朱春和	公泰昌
	後橋	北小橋	老西莊	太平橋	斷塘橋	鄭家巷	曹墓塘	謝埭橋	東濱		燒香濱	北莊	南坊前
	一六	二八	二〇	三〇	一六	二六	三二	四〇	二〇		一二	四〇	四〇

恒泰源	方同昌	錢敦厚	金平	華彰	錢中和	張久大	裕昌祥	裕昌祥	新泰昌	陸義昌	程裕昌	長泰祥公記
								揚名鄉		新安鄉		
同	北橋	善念橋	高車渡	南橋	中橋	慶灣	東港		新安鎮	陸莊橋	同	茅塘橋
一四	一四	二四	一〇	四	六	二〇	三〇		四	二〇	一六	一六
協和祥	裕豐	福裕	晉生	協大	益生	復昌祥	同餘	元聚	鄧泰豐	丁聚昌	裕源	
						泰伯市			景雲市			
小橋頭	膽橋	方橋	西宅	北庄	大墻門口	前旺	羊橋頭	坊前	鄧巷上	六點橋	南橋	
一六	一六	一二	四	二四	二四	一六	一二	一六	一二	一〇	一〇	

振華	厚生	彙源	同利盛	永興	范祥和	泰昌祥	利生	華仁昌	徐洽盛	德仁興	源源	同和	
												懷下市	
南橋頭	同	同	謝家塘	早尖	興塘	嚴家橋	安鎮	蠡橋	楊亭	嚴家橋	二房廊下	張涇橋	
一二	二四	二八	一六	三二	三四	三〇	二四	二四	二六	二八	四〇	二〇	
純和	淡義隆	華福昌	恒康	永昌	禮和	長泰昌	華元昌	華豐和	南昌市	履昌	洽昌	悅和	源茂
東浩橋	張塘橋	蕩口	茅塘橋	双板橋	鳳墩橋	茅塘橋	夏連橋	蕩口		長大厦	同	同	鴨城橋
三〇	三〇	二四	二四	二二	二四	二四	三〇	二八		一六	二〇	一六	二八

華成	公和	聚順	華盛	李同	大昌	老公	公和	協泰	同德	振華	謝同
東橫	安橋	天井	潘家	同橋	同橋	東橫	楊岐	周橋	上店	同	戚墅

一六	二八	一六	一六	三二	一二	三六	四八	一六	一六	一五	一二
永昌	同和	吳緒	周山	昇安	協昌	經綸	永興	和豐	久華	祥綸	祥華

同	丁河	雪堰	馬山	禮家	漕橋	三河	馬鞍	周家	湖塘	橫山	余巷	同
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---

八〇	二四	一六	六六	四四	一六	一四	一二	四四	一二	三二	四〇	一六
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

同春	義成	洽泰	春華	萬昌	吳緒	怡和	興昌	同昌	晉泰	繭綸	綺成	同豐	延恒
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

洛陽	龔家	路城	戴溪	洋河	周渡	石堰	同	聖烈	塘橋	湖塘	雪堰	牛塘	左舍
----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----

一六	八	四	八〇	四八	四	一八	一六	四	二	二	三〇	一六	二四
偉綸	新綸	華綸	西	協興	源昌	振大	同利	史恒	協泰	華興	永泰	劉同	元豐

長汀	同	西橫	雪堰	廟橋	劉家	橫山	仙硯	同	岸村	同	省	小虹
----	---	----	----	----	----	----	----	---	----	---	---	----

六	八	三〇	八	八	一六	一四	六	二	四	二〇	一八	八
---	---	----	---	---	----	----	---	---	---	----	----	---

江陰縣南行
 趙大昌 章源昌 張恒昌 大益 恒益 瑞昌 曹同利 同和

孟河 鄒堰 南莊橋 陳家封 後舒 周莊 同莊 懋市橋 同十八畝橋 雲亭 中莊 板橋

二八 二〇 四八 四二 二二 一四 一〇
 祝保豐 通利 詩五章 吳瑞章 大成昌 生泰昌 豫昌

圩塘 仙視橋 大窰鄉 陳渡橋 城內 董大壩 蔡涇鄉 城內 南開 月城橋 同 大青陽

二〇 二二 二六 二二 一六 一二 一〇 四〇

聚英 華英 正英 裕英 新裕 元昌 經正興 瑞綸 恒綸 合泰和 通利 錦綸 聚綸 華興昌

施橋 蠡河橋 巷頭村 馬公橋 新開 王子橋 港口橋 鄒堰 下蕩沿 湯家塘 東戴 西橫林 江墅里 鄒堰

八 八 八 二〇 八 一二 八 四 八 六 八 六 六 四 二
 緯豐 華 守 元 福 萬 裕 王永大 緒昌 晉華 麗豐 傳華盛 華豐 王大森

連江橋 斗港 南港橋 蠡河橋 同 同 戴莊 卜才橋 西倉橋 鄒堰 厚圩 同 小河 陳渡橋

八 八 六

江蘇省溧陽縣南門

恒	和	福	恒	和	公	協	隆	怡	源	公	協	振
豐	綸	綸	昌	豐	興	昌	昌	綸	茂	湧	綸	昌
楊	一字	官	笠	南	宋	分	曹	沙	和	東	鮑	扶
巷	圩	郵	瀆	勝	瀆	水	橋	壩	橋	守	家	風
						墩				圩	莊	橋

二〇	二四	一二	一二	一六	一六	二四	二	四	八	一六	一二	三二	二四
其		華	公	恒	裕	盈	永	鼎	瑞	美	福	公	華
盛		綸	盛	源	昌	億	豐	豐	成	鑫	和	茂	永

西		潘	陶	山	謝	張	五	同	青	水	同	徐	方
門		家	義	下	圩	渚	洞	橋	白	西		舍	莊
		壩	宜	橋					里				

三二		八	六	二	二〇	八	一六	四	二〇	二	二	二四	二
----	--	---	---	---	----	---	----	---	----	---	---	----	---

江蘇省宜興縣南門

沙	郁	同	公	王	源	廣	同	致	大	黃	信	永
全	泰	順	孚	源	興	昌	興	綸	成	公	隆	和
昌	隆			昌					森	和		昌
北	郁	同	祝	西	馬	南	北	塘	同	小	同	同
溷	家		塘	洋	鎮	洋	渚	大	青	陽		
	橋			橋		岐		橋	陽			

二〇	二四	二八	三六	四〇	四八	二四	二四	四八	三二	四八	二四	三六
益	協	九	恒	恒	夏	昌	協	毛	裕	徐	吳	裕
新	順	成	潤	德	壽	順	昌	義	祥	文	公	源

祝	黃	三	綾	河	長	同	同	瑣	顧	同	峭	顧
塘	渡	河	膝	塘	壽			塘	山		岐	山
	壩	口		橋								

三二	一六	一二	二〇	三四	四八	四八	一六	二〇	二〇	六	一八	一六
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----

恒盛	恒盛和	公茂	振昌	恒昌	坤和	江蘇省金壇縣繭行	福裕	華昌	大綸	江蘇省吳縣繭行	信大	錢大源	大成
百家塘	古縣	五南渡	詩店	雙橋	綢繆	城內	湖頭	儒郵	胥口	左橋	模涇		
八	八	二〇	八	二二	二二	一四	一〇	一〇	二八	二八	二〇		
信昌	洪大	其增	公和	仁和	公和	大裕	春生	正裕	洪裕森	黃公和	顧萬泰		
守中金	龍王廟	朱家江	李家宅	錢家圩	西門	同四	社頭	渚琳鎮	同	木瀆	向街		
二二	二二	一六	二二	一六	四〇	二四	二二	二二	一〇	二四	二二		

公泰	新大	晉大	裕氏	葉惠和	江蘇省吳江縣繭行	永和	恒升	江蘇省靖江縣繭行	瞿信成	王人和	朱豐大	陳潛興	江蘇省江甯縣繭行
後巷橋	洞庭東山	同	同	同	平望鎮	嚴墓鎮	北城內	北城內	西城內	北城內	同		
二八	一六	三二	二四	二二	一六	一四	一二	一六	一二	一六	一二	三	
秦茂生	秦美大	豐秦	瑞大	衡大	華綸	錦綸	孫潛興	袁永豐	盛天成	孫潛興	袁永豐	盛天成	
洞庭西山	同	同	同	同	嚴墓鎮	南庫鎮	中洲團	十圩橋	西來橋	中洲團	十圩橋	西來橋	
三〇	二〇	二〇	三〇	一六	一四	二二	四	四	四	四	四	四	

信 裕 王家渡
華 裕 錄口鎮

二四 大綸本廠採辦處 堯化門
三二

四四

江蘇省揚中縣繭行

華 昌 斧頭街

四 解公和 油坊橋

二四

鼎 豐 老郎街

二二 公信永 油坊橋

二二

華 綸 碼頭

四 華 昌 鎮海庵

四四

同興和 三茅宮

四 華 源 玉皇廟

四四

江蘇省丹徒縣繭行

大綸本廠採辦處 埤 城

一〇 大綸本廠採辦處 金山河邊

二八

永利本廠 金山河邊

二二

江蘇省江都縣繭行

大綸本廠採辦處 虹橋鎮

四 大綸本廠採辦處 四方橋

二〇

同 上新 洲

同 上送駕橋

二二

江蘇省寶應縣繭行

興 利 湖西閘家橋

二〇

江蘇省揚子縣繭行

大綸本廠採辦處 北門大街

永利本廠採辦處 南 關

江蘇省勿容縣繭行

大綸本廠採辦處 東陽陳

大綸本廠採辦處 龍 潭

江蘇省常熟縣繭行

大 綸 羊尖鎮

一六 振 興 界涇橋

二四

常 興 洞涇橋

二四 公益昌 王莊鎮

二四

東 大 施家橋

二四

江蘇省松江縣繭行

裕 成 楓涇鎮

二〇 義 昌 楓涇鎮

一〇

謙 吉 同

二〇

江蘇省奉賢縣繭行

協泰餘 南橋鎮

一六

四五

江蘇省金山縣商行

裕豐 邱里廟

二〇

江蘇省上海縣商行

聚綸 龍華鎮

八

義昌 同

八

聚源 同

一六

張信和 曹河涇

八

史埭華 同

八

江蘇省南通縣商行

阜生 唐家閘

二〇

章源大 姜灶港

二四

阜生 四楊壩

一二

江蘇省海門縣商行

通海蠶桑公司 搭連鎮

二〇

浙江省嘉興縣商行

興濟 北門外

三三

大和 太平橋

三三

裕記 西麗橋

四八

嘉綸 東柵口

三三

昌記 東柵口

三三

益昌 鳳橋鎮

二四

嘉餘 石佛寺鎮

二四

嘉餘 餘賢鎮

二〇

浙江省平湖縣商行

東昌大 東門外

三三

沈祥泰 麒麟鎮

二〇

陶元昌 茆家鎮

二〇

同上 壩頭鎮

二〇

阜生公司

定興鎮

二〇

同

吳家鎮

二二

倪萬春

常興鎮

二〇

嘉昌

王店鎮

四〇

恒昌

莫家巷

四〇

恒裕

南滙鄉

二四

華綸

鍾埭鎮

二八

大經

七星橋

三六

同康

馬車滙

二六

益利

白馬堰

三三

裕新

新豐鎮

三三

西昌大

西門外

二四

昌 綸	同	三二	協 興	新 埭 鎮	四
正 新	新 埭 鎮	三二	大 昌 祥	同	二四
新 盛 昶	同	二〇			
浙江省海鹽縣繭行					
全 昌	嶼 城	二四	興 順	沈 蕩 鎮	一六
浙江省嘉善縣繭行					
同 昌 盛	西 門 外	二四	叙 順	東 門 外	二八
浙江省崇德縣繭行					
振 興	石 門 灣	一〇	益 大	五 河 涇	一〇
浙江省吳興縣繭行					
公 益 成	大 通 橋	二八	公 益 永	南 高 林	四〇
浙江省長興縣繭行					
守 益	泗 守 新 河 橋	二〇	乾 元 恒	丁 源 渡	三三
源 成	鈕 店 橋	三二	德 成	和 平 橋	二〇

震 成	胥 倉 橋	二〇	裕 成	同	三三
公 成	虹 星 橋	二〇	成 昌	林 星 橋	三三
浙江省德清縣繭行					
公 益 和	東 橫 星	一〇	緯 成	大 麻	二〇
浙江省安吉縣繭行					
亨 大	梅 溪 鎮	三〇	大 綸	遞 舖	三六
恒 源	同	二六	瑞 綸	同	二四
亨 大 利	韓 街	二〇			
浙江省杭縣繭行					
緯 文	鹽 平 鎮 東 市	二八	瑞 源	鹽 平 鎮 西 市	三三
綸 綸	同 南 市	一八	遂 大	高 司 鎮	二〇
浙江省海鹽縣繭行					
新 豐	長 安	二八	通 和 仁	許 村 西 市	四〇
公 記	同	一六	信 昌	楊 家 渡	一八

通和亦 許老鎮 四〇 公順 袁家壩 三二
 裕大 資勝寺 一四 生和 許村東市 二四
 復興 施家堰 一六

浙江省蕭山縣蕭行

同泰 爪德 一四 茂泰昌 靈官殿 一二
 同和義 越蔭橋 一六 鴻吉 靖江殿 一八
 同 善信庵 二〇 緒寶和 緒山 一二
 同和合記 倉前 二〇 協泰豐記公 龜山 一二
 泰和 蜀山 一六 恭和永 同 一二
 泰和公記 頭蓬 一六 隆吉 老埠頭 一二
 恭永和 引字號 一六 協泰豐 盈下圍 一六
 通義源 頭蓬 一八 豫昌和 油車埠 一二
 恒義公 張案 一八 萬豐協 倉前 一二
 吉祥和記 頭蓬 一二 慶寶和 南沙城隍廟 一四

公益 靖江段 一四 恒和 戴村林橋 一二
 公昌 培新鄉達字號 一六 同茂 洋墅河 一六
 綸利 長河鄉 一二 同源 張安壩 一六
 通濟 赭山鄉 一二 公義 小泗埠 一二
 公興 培新鄉保字條 一二 普益 頭蓬 一六
 復大陸 郭家埠 一〇 彙泰豐 工字號 一六
 中和 培新鄉歲字號 一二 正和 方遷渡 一二
 復和 南沙泰興店 一六

浙江省縣縣蕭行

城市

至大 城中 一四 楊公和 東門外 一六
 公泰昌 東門外 一二 德興昌 同 一二
 盧寶興 同 一四 恒昌利 東門內 一八
 寶興昌 同 一四 薛源大 西門外 二四

新乾和	恒源利	萬象春	公泰和	協和豐	永志祥	允興昌	粹源和	薛源和	永勝昌	五豐	源餘	吉祥泰
后山	晉溪	東郭	浦口	晉溪	北門內	東前街	同	同	化龍門內	西前街	同	西門外
	一〇	八	一二	一〇	一二	一二	一四	一六	一四	一二	一四	一二
鼎號	大亨昌	悅大	成昌	同亨昌	仁泰昌	泰昌	鼎昇	南	永利昌	同和	瑞源永	乾和通
同	同	同	同	同	崇仁	蒼巖	上碧溪		石橋	大屋	華堂	同
一四	一四	一〇	二四	二〇	二二	一〇	二二		二二			五二

浙江省諸暨縣商行

諸錦昌	同昌	綸華	振綸	萬源祥	俊昌	泰豐	鼎豐	沈大豐	洽大	華順泰	滙通
溪北	趙家埠	楓橋	下江東	三界	棗樹嶼	登岸	同	同	同	同	甘露鎮
二〇	二〇	二〇	一六	一二	一〇	一二	一四	小一十	一四	二〇	一六
維新	和豐盛	盧寶昌	同源昌	乾裕	恒茂昌	寶興順	大昇昌	大有	震昇祥	新瑞大	泰昌
花紋前	利普	里仁村	街亭	三界	沙園	馬香	杜家堡	同	同	同	同
一六	一六	一六	一四	一〇	一〇	一八	一〇	一六	一〇	一四	一〇

公義和	大宣	一三	通源利	浮塘	一六
裕錦	西陡壘	一六	集義生	江塘	一六
永豐利	三都	一六	貞元	下廊橋	一二
同益衡	駱家	一六	協泰亨	馬家塢	一六
晉孚	陳蔡	一二			
浙江省分水縣縣商行					
恒源	浦頭	一〇			
浙江省於潛縣商行					
公裕	金家村	八	公和	印渚埠	八
鼎亨	麻車埠	八			
浙江省富陽縣商行					
來源茂	墅溪	一〇	來源茂	湯家埠	一〇
浙江省新城縣商行					
新仁昌	福口	一二	福裕和	西街	一〇

協源昌	三溪口	八	協和	丁家村	八
經華	同	八			
浙江省桐廬縣商行					
裕豐昌	皇甫角				
浙江省餘姚縣商行					
恒新祥	天元寺	一二			
浙江省上虞縣商行					
泰昌	章鎮	八	姓記	城中	八
華昌豐	同	一二	恒春	三界對江	一二
春植公司	同	一二			
浙江省新昌縣商行					
至大	城中	一〇	寶昌	黃澤(王澤)	一四
同興昌	同	一二	寶興昌	同	一四
乾昌新	同	一二	恒大昌	同	一二

豫豐	和豐	懋昌	永豐	祥源興	萬泰恒	爾昌	瑞源恒	大同升	華昌永	裕亨通	乾和豐	正昌
霞	曹	小	同	同	黃	同	同	同	同	同	同	黃擇(王澤)
徐	娥	江			壇							
八	一二	八	一二	一二	八	一二	一六	一二	一二	一二	一二	一二
大吉	泰生	萬生	泰和	滙通源	永茂祥	石同豐	廣恒昌	信和祥	永大利	申昌	豐大利	
同	湯	上	同	舍	瀾	溪	梅	前	藕	麻	藕	五六
	浦	浦		前	諸	西	渚	梁	岸	車	岸	
八	一二	八	〇	一二	一二	一二	八	一二	一二	〇	〇	

浙江省紹興縣繭行

瑞章	新昌	大綸	義康永	謙和永	大綸分廠	安徽分廠	安徽太平當塗縣繭行	安徽池州貴地縣繭行	乾昌	安徽寧國郎溪縣繭行
王化	東門外	同	孫家埠	三里店	龍崗鎮	龍崗鎮	小丹陽	茅坦鎮		
八	三〇	三〇	一二	一六	八	八	三六	一二		
大豐	大成	新昌	泰昌永		永利分廠					
王化	木鎮	同	水東鎮		閱家橋					
〇	二八	一〇	八		二〇					

公 和 城 内 八

安徽省寧國廣德縣繭行

永泰祥 縣 城 一二

安徽省寧國涇縣繭行

黃公和 涇 縣 二四

産繭ト地方別

(一) 産繭地ト繭ノ種別

優良繭ノ産出地ヲ以テ目セラル、ハ白繭ニアリテハ浙江省縣及新昌縣地方
紅桃色繭ニアリテハ湖北省沔陽漢川縣地方ナリトシ、又産繭ノ多量ヲ以テ鳴ル
ハ白繭ニシテ江蘇省無錫及武進縣地方ナリトス而シテ江浙皖ノ三省ハ全部白
繭ニシテ各養蠶家毎ニ僅ニ一二蛾分ノ黄繭ヲ混ズルニ過ギズ、此ノ少量ノ黄繭
ヲ混ズルハ既記セル如ク幾百年來ノ因襲ニシテ黄繭ヲ蠶神ニ擬シ而シテ飼養
ノ蠶中ニ其蠶神ノ在シマセバ蠶ノ豊作ヲ守護ストノ信念ヨリ來レルモノナリ

トノコトニテ我國ニテモ四五十年前ニハ各地ニ此ノ風習アリテ今尙東北地方
ニ散見スルモノト毫モ異ナラズ、然ルニ湖北省ニ上ルトキハ大ニ之ト趣ヲ異ニ
シ着色繭大部分ヲ占メ白繭ハ僅ニ百分ノ十内外ニ過ギザルモノ、如シ、左ニ四
省内ニ於ケル産繭地方ヲ舉グベシ

湖北省

沔陽縣 此ノ一縣下ニテ省内全産額ノ十分ノ四ヲ占ム

漢川縣、黃州縣 此ノ二縣下ニテ省内全産額ノ十分ノ三ヲ占ム

河洛、當陽、宜昌、荊州、鄭陽、襄陽、武昌、德安、安陸ノ各縣ニテ漸リ殘ク十分ノ三ニ達
スルニ過ギズ

江蘇、浙江、安徽三省

江蘇省無錫、武進兩縣下及其附近ニ於テ全産額ノ約十分ノ四ヲ占メ、浙江省縣
新昌縣附近ニテ全産額ノ十分ノ一半ヲ産シ、其ノ他ノ地方ニ於テ殘リ十分ノ四
半ヲ産スルモノト見テ大差ナキガ如シ、更ニ言ヘバ江蘇省ニアリテハ

江陰、靖江、宜興、溧陽、金壇、楊子、楊中、丹徒、丹陽、寶應、句容、嘉定、太倉、吳縣、江都、江寧、常

熟、吳江、松江、奉賢、上海、金山、泰興、如阜、南通、海門ノ諸縣下
浙江省ニ在リテハ

杭縣、安吉、餘姚、昌化、富陽、嘉善、武康、上虞、嘉興、長興、蕭山、新城、海鹽、海鹽、諸暨、餘杭、崇
德、德清、桐、於潛、吳興、紹興、分水、孝豐、平湖、湖州ノ諸縣下

安徽省ニアリテハ

天長縣境內 龍崗鎮、閔家橋 當塗縣境內 小丹陽

貴地縣境內 茅垣鎮 青陽縣境內 城外及木竹潭

廣德縣境內 城內 郎 縣境內 城內

涇縣境內 城外 宣城縣境內 孫家埠、水東鎮

三里店等ヲ其產繭地方トス

(二) 產繭額

統計ノ信據スベキモノナキモ江浙皖ノ三省內ニ於ケル產繭ハ大凡乾繭五十餘
萬擔ニ達スベク內輸出生絲ノ原料ニ供セラル、モノハ三十八九萬擔ニ達シ支
那內地ニテ消費セラル、生絲ノ原料ニ供セラル、モノモ恐ラクハ十二三萬擔

ニ上ルベシト云フ

勿論此ノ計數ハ輸出向ハ上海ヨリ輸出スル器械製絲及七里絲ノ數量ヲ計算シ
乾繭百斤ニ付スル平均絲量ヨリ打算セルモノニシテ内地用ハ推算ニ過ギズト
雖モ蓋シ實量ニ近キモノナラン

湖北省モ亦統計ノ微スベキモノナキモ漢口ヨリ輸出セル絲及繭ハ大正四年ニ
在リテ生絲七千貳百五十擔繭約五千擔ナリトノコトナレバ生絲七千貳百五十
擔ノ製造原料繭ハ概三萬六千二百五十擔ヲ要スルモノトシテ之ニ繭ノ輸出ヲ
合スレバ計四萬千貳日五十擔ニシテ別ニ省内消費ノ原料繭ヲ輸出ノ約半數ト
見積ルトキハ六萬千八百七十五擔ノ產繭アル可キ計算トナレリ

桑ノ種類並ニ仕立方ト地方別

(一) 桑ノ種類

支那蠶業ノ中心地タル江浙二省及湖北省內ニ於ケル桑樹ノ種類ハ大部分ハ湖
桑ニシテ之ニ次グラ魯桑トス而シテ桑種(栽培)ハ殆ド此ノ二種類ノ外ニ出デズ

ト云フモ過言ニアラズ然レドモ支那人ハ桑種ニ對シテ土地ニ依リ又人ニ依リ稱呼ヲ異ニシ居レリ假令ハ魯桑ヲ家桑ト云ヒ荆桑ヲ野桑ト稱スルガ如ク魯桑ト湖桑ヲ明ニ區別セルアリ區別セザルアリ又湖桑中ヨリ苞芽ノ赤色ナルモノヲ撰ミ之ニ火桑ナル名稱ヲ附シテ栽培スルモノアリ要スルニ丸葉ニシテ葉形大ニ肉厚キモノヲ魯桑トシ葉薄ク葉邊ニ缺割アルモノヲ荆桑トシ又其荆桑ト魯桑トノ間ニ生ジタル一種ノ丸葉ニシテ稀レニ少許ノ缺刻ヲ有シ葉形大ニシテ葉肉稍厚ク(魯桑ノ葉大ニシテ肉厚キニ迨バザルモ)收穫多ク且ツ飼料ニ適セルモノヲ湖桑トナシ廣ク且ツ多ク行ハル尤モ湖桑ハ近代ノ新種ニアラズシテ數百年來ノ種類ナリト云フ

桑ノ種類ヲ地方別ニスルトキハ江蘇省無錫武進湖州地方ハ多ク魯桑ニシテ浙江省杭州縣新昌縣地方及ビ湖北省ハ多ク湖桑ナレドモ湖北省内ニハ尙荆桑モ少ナカラザルガ如シ然モ支那ノ桑種ハ我國ノ其レニ比シテ品種頗ル少ナキガ如シ

(二) 仕立方

仕立方ハ江浙二省ハ何レモ拳式仕立ニテ其拳數ハ一定セズ即チ一樹二拳アリ三拳アリ又八拳ナルアリ其樹ノ姿勢ニ依リテ造拳シ強テ之ヲ一定セザルモノ、如シ又拳ノ高低即チ樹ノ高サノ如キモ敢テ一定スルコトナク其樹ニ依リテ適宜ニ仕立ラレ居ルハ能ク樹ノ姿勢ヲ斟酌シ可成其自然ヲ妨ゲザルコトニ留意セルモノナルヲ窺フニ足ル更ニ仕立方ノ高低ヲ地方別ニスルトキハ無錫地方ハ丈低ク地上ヨリ一尺乃至二尺位ノ處ニテ分股シ其ヨリ又一尺五六寸ノ處ニテ拳ヲ作ルモノ多シ故ニ此ノ方面ハ三尺乃至四尺位ノ處ニ拳ヲ有スルモノ多キモ浙江方面ハ之ニ反シ地上ヨリ三四尺ノ處ニ分股シ其レヨリ二尺乃至四尺位ノ處ニ拳ヲ有スルガ故ニ其丈ケ高ク即チ前者ハ低作り拳式ニテ後者ハ高作り拳式ナリトス即チ樹ノ丈ニ高低アリト云フノミニテ拳式ナルニ至リテハ一ナリ

湖北方面ハ多ク喬木仕立ニシテ我國ノ立通式ニ似テ而モ全然立通シナルニモアラズ左リトテ拳式ニアラザルハ勿論ニシテ枝條ハ三年目或ハ四年目ノ收葉期ニ於テ之ヲ折り取り敢テ缺又ハ鎌等ヲ用ヒテ剪取セザルモ樹形見惡クカラ

ズ且ツ桑樹ハ能ク繁茂ス但桑形ハ稍小ニシテ葉肉モ亦少シク薄キヲ免レザルモノ、如クナレドモ收葉頗ル多シト云ヘリ

(三) 夏蠶ト用桑

中支地方ニ於ケル夏蠶ハ比較的少量ニシテ其飼育モ近キ二十年來ニ屬シ從ヒテ其用桑ノ如キ特ニ仕立ツルニアラズ夏蠶ノ比較的多キ地タル無錫地方ニアリテモ其用桑ハ春蠶期ニ枝條ヲ缺ミ取り所謂拳直シヲナシ其レヨリ再ビ發芽伸暢セルモノ、内發育不良ナルモノ又ハ密ニ過ギタルモノ其他下枝等ヲ用ユル(我國ノ間拔キニ當ル)ヲ普通トナスモノ、如シ故ニ其飼育分量モ春蠶ニ比シ頗ル少量ナルモノ、如キモ這ハ普通ノ場合ニ過ギズシテ年ニ依リ春蠶ノ不作ナリシ場合等ニアリテハ自然飼育分量モ増加スルヲ以テ從ツテ用桑モ眞ノ間拔ノミニテハ不足ヲ生ジ爲メニ竟ニ翌年春蠶用ノ分ヲモ摘採スルノ止ムヲ得ザルニ至ルコト往々ニシテ之アリト云フ然ラバ此ノ影響ハ如何アル可キ近來無錫地方ノ繭質ハ二十年前ノ產繭ニ比シ趣味ニ乏シク且ツ絲量減少ノ傾向アリトハ永ク製絲業ニ從事セル某支那人ノ自白セル所ナレドモ支那人ハ之ヲ桑

葉濫採ノ結果ナリト思料セザルモノ、如シ

(四) 栽桑ト養蠶

由來支那人ハ桑樹ノ栽培ニ於テ頗ル懇切精妙ナレドモ養蠶ハ之ニ反シ幼稚ニシテ粗放ナリ等ノ見解ヲ下セル人モナキニアラズ然ルニ桑園ヲ一見スレバ如何ニ栽桑ニ力ヲ致シ居ルノ大ナルカヲ知り得ルト共ニ一面ニハ如何ニ養蠶ニ注意ヲ拂ヒ居ルノ深キカヲ推知スルニモ足ル可シ何トナレバ假ニ支那人ヲシテ愚劣ナラシムルモ栽桑ノ爲メニ養蠶ヲナスニアラズシテ養蠶ヲナスガ爲メニ栽桑スル位ノコトヲ知ラザルノ理由ナシ否理由ナキノミナラズ實際ニ於テ養蠶ヲ等閑ニ附スルニアラズ又幼稚ニモアラザル事實ハ別記ノ如ク幾多證明シテ餘アリ不知斯クテモ尙栽桑ニノミ厚シト云フヲ得ベキカ是レ畢竟支那養蠶ノ眞事情ヲ知ラザル偏見ヨリ來リタル說トハ云ヘ兎ニ角桑園ノ管理能ク整ヒ居ルコトハ本邦當業者ノ參考スベキ價值十分ナリト信ズ

支那中部ニ於ケル氣象狀態

支那養蠶ヲ説クモノハ往々ニシテ曰ク氣象狀態ガ大陸的ニシテ養蠶期中空氣ハ乾燥シ居ルヲ以テ彼ガ如キ粗放ナル飼育ノ下ニモ尙能ク營繭シ得ルナシ云々ト然レドモ本年ノ實際ハ養蠶期ヲ通シテ然カク乾燥セル氣候ニアラズシテ余ガ上海到着以來携帶セル乾濕計ニ依リ觀測セル所ニ依レバ空氣ノ濕度甚ダ高クシテ實ニ豫想ノ外ナリシノミナラズ我國領事館附屬中央氣象臺觀測所及其他ノ觀測ニ依ルモ亦其傾キアリ尤モ氣象臺ノ觀測ハ其平均ニ於テ平年ノ濕度ト大差ナク雨量ノ如キハ却テ本年ノ方少キ所アレドモ然モ雨量ノ多少ヲ以テ直ニ養蠶ノ難易ヲ區別スベキニアラズ假令雨量ハ少クトモ降雨時間ノ長キハ却テ養蠶上不適當ノ氣候トナルベク現ニ本年漢口及杭州ノ五月ニ於ケル雨量ハ前十年平均ノ一一四^{mm}ニ對シ本年ハ八九^{mm}ニシテ又杭州モ十年平均ノ一一四^{mm}ニ對シ七八^{mm}ニ過ギザリシガ降雨日數ハ一ヶ月間ニ於テ漢口ニハ二十二日アリ又杭州ハ二十一日ニ達シ眞ニ養蠶上不適當ノ天候ナリシハ爭フベカラザル事實ナリトス左ニ本年ノ養蠶期中ニ於ケル雨量及ヒ濕度ヲ參考ノ爲メ掲記ス

大正五年四月、五月ニ於ケル毎日ノ濕度及雨量表

四月 日	場所		自身觀測セル		中央氣象臺觀測所		在漢口		在南京		在上海	
	項目	日	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度	溫度	濕度
十二日					一八八	八〇・〇	一八八	八二・〇	一七四	八一・七	一五九	八一・〇
十一日					一四四	七五・〇	一五五	六三・三	一四三	六〇・三	一二九	六九・〇
十日					一三三	七〇・〇	一一七	六八・三	一一三	六四・〇	一〇五	七三・〇
九日					一九二	七六・〇	一三六	八三・三	一四三	八九・三	一五六	八九・〇
八日					二〇七	六九・〇	二二二	六三・三	三一・一	六一・七	一八二	七一・〇
七日					一八六	六三・〇	二〇九	五三・三	一八五	五八・〇	一六六	六三・〇
六日					一六〇	五〇・〇	一八四	五四・七	一五三	五四・〇	一二三	六四・〇
五日					一〇三	七二・〇	一四八	五五・〇	一〇〇	五四・〇	八四	五七・〇
四日					九四	五九・〇	一三九	四六・七	一〇七	四五・七	八〇	五九・〇
三日					一〇八	七〇・〇	一三二	四六・三	八四	五七・三	八五	六六・〇
二日					一〇九	八〇・〇	一二七	六四・三	一一三	六九・〇	九九	七四・〇
一日					八三	八一・〇	一〇三	七三・三	七九	七七・〇	八〇	七三・〇

平均	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
五月																
六九〇	六七〇	七二六														
九四〇	九四〇	九六〇														
二〇,九	一九,三	二二,九	二五,六	二二,四	一九,六	二〇,五	一七,八	一五,三	一四,四	二〇,九	一七,五	一五,五	一五,三	二六,三	一六,〇	八〇,五
八八〇	八九〇	八五〇	六〇,〇	七七,〇	九四,〇	九五,〇	八八,〇	八一,〇	八〇,〇	八四,〇	七七,〇	七三,〇	六八,〇	七,〇	二〇,一	二〇,一
〇,八	〇,五	一一,九		一四,〇	四,三		一三,八	三,〇	〇,二	〇,五			二,四			
二〇,七	二〇,二	一九,五	二四,六	二二,九	二四,六	二二,〇	一七,七	一四,〇	一五,二	一五,八	一七,七	一六,三	一八,七	一六,一	一四,九	一六,五
八二,七	八六,三	八四,〇	八五,三	八七,三	八五,三	八八,〇	八七,七	七五,七	七〇,〇	九五,七	八五,三	七九,三	七七,七	八一,三	八六,三	七四,八
三,五	九,三	二四,二		一五,五	〇,二	一五,五	一,五	一四,五	一,三	一,三	一六,七	一七,八	一七,五	一五,五	一〇,〇	一九,〇
一九,六	一六,九	一八,六	二二,〇	二二,六	一八,八	一九,四	一九,五	一五,〇	一三,五	一六,七	一七,八	一六,五	一七,五	一五,五	一四,二	一四,六
八六,三	八二,七	九一,七	九一,三	七九,七	九〇,七	九四,七	七八,七	六七,九	六五,〇	九六,三	七五,七	六六,七	五九,三	七三,〇	七三,〇	七六,〇
七,六	三七,〇	九,一			一一,二				一一,六		一一,四		一六,〇	一四,六	一四,〇	八九,八
一八,八	一七,三	一九,一	二〇,六	一八,八	一七,三	一七,二	一八,〇	一三,四	一三,一	一七,八	一五,一	一五,四	一六,〇	一四,六	一四,六	一四,〇
九三,〇	九〇,〇	九四,〇	七五,〇	八〇,〇	九五,〇	九七,〇	七七,〇	六五,〇	七四,〇	九二,〇	九四,〇	七七,〇	六七,〇	六四,〇	六六,〇	八二,〇
二,一		二五,八			七,〇				二四,四							二一,八

十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	三十日
一八,八	二二,三	二一,六	一六,三	二〇,一	二二,九	二七,〇	一五,四	一四,六	一七,二	一七,〇	一五,六	一五,三	一五,八	一六,五	一七,二	一八,九	一六,八
九四,〇	八九,〇	八九,〇	八五,〇	七九,〇	七九,〇	七三,〇	九三,〇	九〇,〇	八八,〇	九四,〇	九〇,〇	九一,〇	八六,〇	八四,〇	九三,〇	八六,〇	九三,〇
一六,四	二〇,九	九,三					三三,九	三七,五		四,一	三,四	九,六	一〇,七	九,七	七,四	七,四	二九,六
一九,二	一四,五	一五,七	一八,五	二二,四	二六,五	二六,三	一〇,六	一〇,四	一〇,八	一四,一	一五,九	一六,七	一八,三	一六,一	一六,九	一五,六	一七,六
七九,七	八八,七	八〇,七	八四,〇	七七,三	六八,三	六八,七	九二,三	八四,〇	九三,七	八〇,〇	七八,三	八一,三	七八,三	九五,〇	八三,四	九二,三	八六,七
一七,二	一〇,五	一〇,二	一六,六	二二,三	二二,八	二二,七	一〇,八	一〇,二	一九,六	一,二	一,二	一五,七	一四,八	一五,八	一五,五	一五,三	一四,九
八五,七	七八,七	九一,三	八一,三	七〇,三	八〇,三	七二,〇	八八,七	九〇,〇	八八,七	九七,〇	九四,七	八三,〇	七五,三	七六,〇	八八,〇	八六,〇	八六,〇
〇,三	一一,七	一六,一					〇,二	六,六	一,七	二,七	三,二	三,二	三,二	三,一	三,一	三,一	六,九
一七,一	一一,四	一〇,三	一三,一	一七,〇	一八,九	一七,〇	一三,五	一三,五	一五,一	一四,一	一四,〇	一四,〇	一四,〇	一五,六	一五,八	一七,六	一五,三
八六,〇	七八,〇	九五,〇	八五,〇	八三,〇	八三,〇	八一,〇	九八,〇	九六,〇	八八,〇	九六,〇	九四,〇	八六,〇	八五,〇	七九,〇	九六,〇	八四,〇	九一,〇
〇,一	二,三	六,六					二,七	二,五	二,一	四,三	四,三	一,七	一,七	一,六	〇,八	〇,八	二,九

十七日	七三三	八〇〇	三三六	八四〇	三三三	八二〇	二二五	三三〇	八一三	〇〇四	二一〇	八二〇
十八日	六七一	九二〇	二九七	九〇〇	二二〇	七五三	一八四	一八四	八六三	五三〇	一七六	九三〇
十九日	六七六	九三〇	一七九	八八〇	二二三	七九三	一九三	一九三	七六三	一七一	八五〇	一四三
二十日	六五三	八九〇	一八七	八九〇	二二一	七五〇	〇七	二〇一	七九三	一八五	八〇〇	
廿一日	七六五	八〇五	二二二	七八〇	二四〇	七五三	三三二	七五〇	七九七	一九二	七九〇	
廿二日	七三五	八〇三	二二九	七二〇	二五一	七三〇	三三〇	六一七	七五〇	一九八	七九〇	
廿三日	七七七		二二六	七二〇	二二四	八一七	一一三	七六〇	七六〇	一九九	七七〇	
廿四日	七四五		二二〇	八七〇	二〇二	七六七	〇一	二〇八	八二三	六二	七七	
廿五日	七三三		二二六	七四〇	二二五	七七七	二二三	二〇八	七四〇	七七	二一三	
廿六日	七四七		二〇七	八四〇	二二〇	七七三	一一〇	二二三	七六〇	七七	二〇五	
廿七日	七七七		二四八	七三〇	二二三	七三三	二二二	二二三	七六〇	二〇六	二〇六	
廿八日	八一〇		二六一	七三〇	二四〇	七三三	二二八	二二八	七六〇	二四六	二四六	
廿九日	八一〇		二六八	七三〇	二七六	六八〇	二四一	二四一	六九〇	二五二	二五二	
三十日	七四〇		二二三	七三〇	二七六	六八三	二四〇	二四〇	六九〇	二五二	二五二	
卅一日	七五七		二五六	六七〇	二八一	七三三	二五五	二五五	六九七	二六〇	二六〇	
平均	七三八		二〇八	七六七	二二三	七九四	九九〇	一九七	六七九	一四六	一八七	七九七

備考 上欄余ノ觀測ハ一日三回觀測ニシテ觀測場所ハ旅舎ニ於テセルアリ又船中
アリ汽車中アリ蘭行内アリテ決シテ一定ノ場所ニ於テ觀測セルモノニアラズ故

ニ元ヨリ正確ハ期シ難キモ尙各所ニ於ケル濕溫度ノ大體ハ知ルニ足ル可シ然レ
ニ五月廿三日過テテ濕計球部ヲ破壞セラレシヲ以テ以後濕溫度ヲ知ルノ便ヲ缺キ
シハ甚遺憾トスル所ナリ

本年ハ實ニ稀有ノ天候ニシテ養蠶上不適ノ氣候ナリシハ前記ノ如クナレドモ
平年ノ氣象ハ果シテ如何平年ハ決シテ斯ル天候ニアラズ之ヲ中央氣象臺各觀
測所ノ觀測(過去十ケ年間)ニ徴スルモ頗ル趣ヲ異ニシ從來ノ説ト同ク養蠶期ハ
概シテ降雨少ク濕度低ク特ニ或ル時期ハ頗ル養蠶ニ適セル天候ノ繼續セルコ
ト多ク之ガ爲メ大陸的氣象ニシテ養蠶ニ適スト觀察セルモ亦故ナキニアラズ
然ラバ或ル時期トハ如何之ヲ數人ニ聞ク即チ五月十五日ヲ中心トシテ前後各
約十日間ハ降雨ノ日尠ク殆ンド晴天ナルハ幾百年間ヲ通ジテ變ラザル天候ナ
リト云フ之レアルカナ東洋第一ト稱セラル、上海大競馬會ガ創始以來毎年五
月十日前後ニ開催スルヲ例トナセルモ亦故ナキニアラザルナリ
支那ニ於ケル養蠶期ハ土地ニ依リ多少ノ差アルモ浙江省嵊縣方面及餘杭海寧
等ハ最モ早ク湖北省沔陽地方ハ之ニ次ギ江蘇省無錫方面ハ少シク後ル、ヲ常
トスルモノ、如ク更ニ上簇期ヨリ見ルトキハ嵊縣方面ハ五月十四五日頃最モ

多ク沔陽地方ハ二十日前後ノ上簇多ク無錫方面ハ廿五六日最モ多キモノ、如シ故ニ多クノ蠶兒ノ愈々壯齡ニ向ハントスル頃ヨリ天候ハ良好トナリ即チ降雨極メテ少ク從ヒテ湿度低キ其間ニ壯齡ヲ經過シ上山スルノ運ビニ至ル此レ支那養蠶上一ツノ天惠ニシテ假令其前後ハ多濕ナルモ壯蠶ノ取扱比較的容易ナルガ爲メ成績ノ上ニ好影響ヲ及ボス所以ナリトス

然レドモ從來唱ヘラレタル支那養蠶ノ結果ヲ單ニ氣候ノ佳良ノミニ歸スルハ蓋シ早計ニシテ前記ノ如キ天候ガ恰モ壯蠶期ニ相當スルノ一事ハ元ヨリ見逸スベカラザル事項ナリト雖モ願テ本年ノ如キ天候ノアル事實ヲ又知ラザルベカラザルト共ニ他ニ一理由ノ存スルモノアルヲ知ラザルベカラズ他ナシ種類問題はレナリ(種類ノ項參照)

左ニ明治三十九年ヨリ大正四年ニ至ル十ケ年間養蠶地方ニ於ケル養蠶期即チ四月ヨリ九月ニ至ル六ケ月間ニ平均氣象概要ヲ附記シテ參考ニ供スベシ、本調査ハ在支那各領事館附設中央氣象臺氣象觀測所其ノ他ニ就キ調査セルモノナリ

自明治三十九年 至大正四年 十ケ年平均氣象觀測表 (溫度ハ攝氏)

月次	觀測場所		最高溫度	最低溫度	平均溫度	湿度	雨量
	最高	最低					
九	三六.〇	一〇.八	八三.〇	二二.三	三三.三	七五.八	三〇.八
八	四〇.三	一八.五	八〇.五	二五.八	三三.五	七五.六	三〇.八
七	四〇.三	一八.五	八〇.五	二五.八	三三.五	七五.六	三〇.八
六	三六.一	一三.七	七九.〇	二〇.七	三三.一	七五.〇	三〇.八
五	三六.一	一三.七	七九.〇	二〇.七	三三.一	七五.〇	三〇.八
四	三六.三	一三.一	八〇.〇	二〇.六	三三.一	七五.〇	三〇.八
三	三六.三	一三.一	八〇.〇	二〇.六	三三.一	七五.〇	三〇.八
二	三六.三	一三.一	八〇.〇	二〇.六	三三.一	七五.〇	三〇.八
一	三六.三	一三.一	八〇.〇	二〇.六	三三.一	七五.〇	三〇.八

中央支那ニ於ケル蠶絲業ト外人トノ關係

養蠶業(製種ヲモ含ム)ニ在リテハ敢テ外人ノ手ヲ煩ハスモノナク何レノ外人モ

亦之ニ手ヲ染メントスルモノナキモノ、如クナレドモ製絲業ニ至リテハ則チ然ラズ中央支那ニ於ケル製絲場即チ絲廠ナルモノハ上海ニ五十七ヶ所此纜車數一萬四千九百六十、蘇州三ヶ所此纜車數七百三十六、無錫八ヶ所此纜車數二百十八、鎮江二ヶ所此纜車數四百四十八、杭州一ヶ所此纜車數二百七十六、湖州一ヶ所此纜車數二百、蕭山一ヶ所此纜車數二百八、湖北省武昌一ヶ所此纜車數二百四十ニシテ絲廠總數七十四ヶ所纜車總數一萬九千九十二達ス然レドモ此内外人ノ獨立經營ニ屬スルモノ二ヶ所、支那人ノ經營ニ屬スルモノ纜絲技術上及生産絲販賣並資金ノ融通等ニ關シ外人ト密接ナル關係ヲ有スルモノ八ヶ所ニシテ其他ノ全部ハ表面支那人ノ單獨經營ニ屬スルモノ、如クナルモ其實一トシテ支那人ノ獨力經營ニ成ルモノナク伊、英、佛、日人等ノ孰カト關係ヲ有セリ少ナクモ此等外人ニ資金ヲ仰ガザルモノナシト聞ク而シテ外人ト密接ナル關係アルモノ、内我國ニ屬スルモノハ單リ三井洋行ノ三元絲廠一ヶ所此纜車數二百四十ト其他十數ヶ所ノ絲廠ニ資金ヲ融通シ尙益々發展セントスルモノアルノミニシテ他ハ悉ク英、佛、印等ノ外人ノ手ニ依ル此一事以テ如何ニ歐洲人ノ支

那蠶絲ヲ重要視スルカラ知ルニ足ル可シ加之近年來米國絹業家ノ支那蠶業ノ開發ニ留意スルコト漸ク深ク數次警告ヲ發シテ改良ヲ促スノミナラズ近クハ或ル絹業家ノ如キ自己工場ニテ消費スル生絲ノ量ハ一日百二十擔宛ノ多額ナルガ今後其大部分ノ供給ヲ上海生絲ニ仰ガントス故ニ益々生産ヲ増加スルト共ニ製品ノ改良ヲ望ムト呼號シ本春以來上海ニ根據ヲ構ヘ美鷹洋行ノ名ノ下ニ本年ノ購繭資金百餘萬兩ヲ支出セリト傳ヘラル、然ルニ今日コソ僅ニ一美鷹號ニ過ギザルモ今後幾十ノ美鷹來リテ支那蠶業ノ開發ヲ企圖スルコトナキヲ保セズ我國當業者ノ袖手傍觀スベキ秋ニアラザルナリ
左ニ參考ノ爲メ各絲廠ノ廠名、地趾、纜車數等ヲ記載スベシ

上海纜絲廠

廠名	車數	地趾	原主	廠名
瑞 綸	六〇〇	密 勒	瑞 綸	瑞 綸
信 昌	五三六	梵 王	信 昌	瑞記洋行
永 泰	五三二	七 浦	永 泰	另組房產公司

協又餘協南寶東協大三新福協振又德乾慶
 盛新 瑞
 茂新成昌綸記綸安成源綸和濟錫成成姓華

二〇八 二〇八 二〇八 二〇八 二〇八 二一八 二二〇 二二四 二二四 二二四 二四〇 二四〇 二四〇 二四〇 二四〇 二四〇 二四〇 二四〇 二五二

光梧又恒新楊迪光恒又同天曹又光梧北麥
 復州 豐 樹 思 復 豐 通 家 復 州 蘇 根
 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路

龐 勤 同 吳 華 願 協 大 同 阜 金 中 經 晉 祥 乾 緒
 萊 昌 翁 純 蘭 安 成 綸 順 顧 蘭 記 產 業
 記 產 業 房 產 公 司 產 業 公 司 產 業 公 司 產 業 公 司
 產 業 公 司 產 業 公 司 產 業 公 司 產 業 公 司 產 業 公 司

統利大雲裕裕協振源統震協裕勤久仁聚錦
 錫
 益昌綸成祥康隆裕錫元祥和和昌成和綸戊

二五六 二五六 二五八 二八〇 二八〇 二六〇 二六四 三〇〇 三二二 三三六 三三八 三七八 四〇四 四一六 五一二 二八〇 四四八 四五〇

水成北光挨新成麥成雲文閣唐梧羅北溝恒
 分都蘇複 拉白司脫 開都根都南 極北 家州家 河 州豐
 廟 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 路 街 街 灣 路 路 路 路

華 錦 公 恒 西 裕 錦 大 震 瑞 西 粹 綸 勤 久 振 視 寶
 商 和 和 豐 寶 昌 成 華 豐 昶 順 昌 經 華 昌 成 綸 昌 康
 合 華 永 豐 昌 成 華 豐 昶 順 昌 經 華 昌 成 綸 昌 康
 股 華 永 豐 昌 成 華 豐 昶 順 昌 經 華 昌 成 綸 昌 康
 份 華 永 豐 昌 成 華 豐 昶 順 昌 經 華 昌 成 綸 昌 康
 公 華 永 豐 昌 成 華 豐 昶 順 昌 經 華 昌 成 綸 昌 康
 司 華 永 豐 昌 成 華 豐 昶 順 昌 經 華 昌 成 綸 昌 康
 後改旗昌繼又改爲華商房產公司
 後改旗昌繼又改爲華商房產公司
 地產公司

聯餘 昌記	鎮江縹絲廠	裕昌	源康	振元	乾元	鴻仁	協昌	錦記	乾姓
		三三〇	三二〇	二六〇	二五六	二四八	二四〇	二〇八	
		南門外東港	北門黃婆墩	南門清明橋	北門治坊場	東門亭子橋	北門車站南廟光橋	西門倉橋堍	北門通運橋
金山河	無錫縹絲廠	蘇經	恒利公司	延昌永	蘇門吳門橋	葑門燈華橋	盤門覓渡橋	葑門燈華橋	
		三三六	二〇〇	二〇〇					
		周昇昌產業	顧敬記產業	振源昌	祝源昌	合資房產公司	同	錦記	乾姓
大永綸									

安信	正和	經成	乾康	怡泰	達源	大經	華緯	振成	通緯	豫昌	廣記	鼎源	通大	公泰
一四四	九〇	一六	一三八	一三二	一三六	一五四	一六〇	一六〇	一六二	一七八	一七二	一八四	二〇〇	二〇〇
分水廟	懷安里	唐家弄	開北西街	北蘇州路	分水廟	甘肅路	又北西街	又北西街	又北西街	天通庵	又北蘇州路	北蘇州路	成都路	麥根路
華商合資公司	徐姓產業	震和	新錦華	乾康	華商合資公司	龐華記產業	大經	同新錦華	同新錦華	祝源昌	乾康	公和永	楊陸公司產業	緒成

杭州繅絲廠

大 綸 二七六 塘 棧 鎮 大 綸

蕭山繅絲廠

合 義 和 二〇八 轉 壩 頭 合 義 和

湖州繅絲廠

公 益 二〇〇 北門外六通橋 公 益

支那蠶業ノ前途 併ニ日支蠶業ノ聯盟

支那蠶業ノ前途如何、元ヨリ豫測ヲ許サザルノミナラズ、現在ノ程度スラ正確ニ知ルニ由ナシト雖モ、四圍ノ事情ヲ綜合シテ推測スルニ中央支那ノミニ於テスルモ、將來ノ産額ノ現在ニ幾倍スルヤ測リ知ルベカラズ、惟フニ其産繭ノ需用者

アランカ之ニ應ズル生産ハ殆ド無限ト云フヲ得ベシ然リ肥沃ニシテ殆ド肥料ヲ要セザル廣漠ノ土地ト勞銀ノ極メテ低廉ナル支那農民ノ奮起之ニ應ズルニ於テハ、否漸次交通機關備リテ内外人ヲ問ハズ産繭ノ購入ニ歩ヲ進メ多々益辨ズルノ時代ニシテ到來セバ産繭増加ノ如キハ實ニ易々タルモノナリ、抑モ支那蠶業ノ發達ノ本邦ニ比シ比較的遅々タルハ支那農民ノ惰弱ナルニアラズ、又養蠶ノ幼稚ナルニアラズ、其生産セル産繭ノ處分ニ困難ナルガ爲メニシテ而シテ其産繭ノ處分ニ困難ナルハ必竟交通機關ノ不備ナルヨリ購繭者ノ來往容易ナラザルニ原因ス、故ニ交通機關ニシテ具ハラシカ凡テノ生産業ノ開發セラルハ勿論ナレドモ、特ニ養蠶業ニハ著シキ發達ヲ見ルベシ、現ニ内河航路即チ運河及其他ノ河川ニ小蒸氣船ヲ使用スルニ至リタル以來ト其レヲ使用セザリシ時代トヲ比較スレバ蠶業ノ状態ニ雲泥ノ差アルヲ知ルベシ、即チ支那ニ器械製絲業ノ起リシモ、今日ノ如キ上海ノミニテモ五十有餘ヶ所ノ繅絲廠ノ在ルアリテ世界蠶絲ノ覇ヲ爭フニ至リタルモ、畢竟交通機關即チ滬寧鐵道滬杭鐵道ノ開通ハ勿論左記ノ如キ内河航路ノ發展ニ待ツモノ多大ナリシナリ、更ニ言ヘバ中央

支那ノ蠶業ガ先ヅ江浙二省ニ依リテ代表セラル、モノハ皆是レ運河ノ利用即チ交通ノ發達ニ依レル結果ナリト謂フベシ
參考ノ爲メ左ニ江浙二省内ニ於ケル内河航路用小蒸汽船ニシテ現ニ運輸ニ供セラレツ、アルモノヲ記載スベシ

江蘇浙江兩省内河航路及其使用小蒸汽船數表

(大正五年七月初旬調査)

航路	使用汽船數	航路	使用汽船數
上海蘇州線	三隻	蘇州江陰線	二隻
上海杭州線	四隻	蘇州鎮江線 (增冰期ノミ)	二隻
上海湖州線	三隻	上海青浦線	二隻
上海硤石線	二隻	上海松江府線	三隻
上海平湖線	二隻	上海東溝線	二隻
上海常熟線	四隻	上海高橋線	三隻
蘇州嘉興線	二隻	上海無錫線	二隻

計二九隻

蘇州杭州線	三隻	鎮江小河口線	三隻
南京蕪湖線	三隻	鎮江仙女廟線	三隻
南京六合線	二隻	鎮江六合線	二隻
南京鎮江線	二隻	南京揚州線	二隻
蘇州菱湖線	二隻	南京清江線	三隻
蘇州湖州線	二隻	寧波普陀山線	二隻
鎮江清江浦線	二隻	寧波穿山線	二隻
鎮江揚州線	二隻	寧波沈家壘線	一隻

二、浙江省ノ部

杭州上海線	前記	寧波鎮海線	三隻
杭州湖州線	一隻	寧波温州線	三隻
杭州蘇州線	前記	寧波舟山線	二隻
嘉興平湖線	二隻	錢塘江臨浦線	二隻
嘉興湖州線	一隻	寧波海門線	二隻

寧波乍浦線

二隻一錢塘江義橋線

六隻

備考小蒸汽船ヲ運河ニ航運シ始メタルハ光緒十五年即チ明治二十二年ニシテ其後漸次増加シ明治二十九年頃ヨリハ招商内河輪船局モ開業スルニ至リ以テ今日ノ盛運ヲ來セリ

此他支那式大小ノ荷船ハ其數幾萬隻ナルヲ知ラザルガ何レモ物資ノ運搬ニ供セラレツ、アリ而シテ之アルガ爲メ繭行ノ開設トモナリ又内外人購繭ノ便宜トモナレルモノニシテ或ル支那人ノ談ニ依ルモ小蒸汽船ノ開航前ト今日トヲ比較スルトキハ正確ノ統計ナキモ江浙二省ニ於テ恐ラク二倍以上ノ產繭増加ナルベシト云ヘリ又以テ交通機關ノ發達ト蠶業ノ關係ノ如何ニ深キカヲ知ル可キト共ニ支那各地ニ於ケル交通ノ便ニシテ漸次備ハラシテ吾人ノ最モシテ待ツベク思フニ其時代ハ甚ダ遠キ將來ニアラザルベシ而シテ吾人ノ最モ注意セザルベカラザルハ本邦產繭ノ價格ト彼ノ繭價ノ比較ニアリ左ニ一表ヲ掲ゲテ參考ニ供ス

中央支那ニ於ケル繭價

生産地名	項目	前三年平均價格	本年價格
無錫	南路	三六元	五九元
無錫	東路	四二元	五九元
江陰	州	四二元	五〇元
常州	鄉	四二元	五〇元
紹興	鄉	五〇元	五九元
紹興	鄉	五五元	六〇元
嘉興	州	四五元	四一元
杭州	州	四〇元	四一元
杭州	州	四〇元	四一元
海寧	州	四〇元	四一元
蕭山	州	四五元	四一元
安山	州	三八元	四一元
嘉善	州	三六元	四一元
塘西	州	四八元	四一元
平湖	州	三三元	四一元
無錫	均	四二元五〇仙	四八元一八仙

本年ノ繭價ハ頗ル高ク前數年ノ價格ニ比シテ百斤ニ付キ約六元上値ナリシハ
絲價ノ高價ト本年收繭額減少トノ關係ニ因ルモノナレバ此價格タル元ヨリ標
準トナスニ適セザルモ前年ノ價格ハ平年ノ價格ナレバ採ツテ標準繭價トナス
ニ適當ス可シ尤モ此百斤中ニハ双宮繭ヲ混ズルヲ以テ假ニ双宮繭ヲ約一割ト
見テ百斤中ヨリ控除シ本邦ノ取引慣例タル一ペ目建ニ換算スルトキハ一ペ目
二圓九十五錢ニ相當シ本邦ノ前三年平均ノ春繭一ペ目四圓四十七錢ニ比スレ
バ一圓五十二錢ノ安値ナリ更ニ尙特殊ノ事情ニ依リテ高値ナリシト云フ本年
ノ平均繭價ニ依ルモ亦百斤ニ對シ四十八元十八仙ノ換算一ペ目平均三圓三十
四錢ニ過ギズ尤モ本年ニ於ケル本邦ノ平均繭價ハ未ダ知ルヲ得ザレドモ恐ラ
クハ平均四圓八十錢ヲ下ラザルベク而シテ假ニ四圓八十錢トナサンカ即チ支
那繭ハ一ペ目一圓四十六錢ノ安値ニシテ尙此外ニ前記一割ノ同功繭ノアルア
リ此ノ如ク支那ハ此低廉ヲ以テ原料ヲ提供シ得ルノ養蠶經濟組織ナルニ顧テ
本邦ノ養蠶ハ如上ノ繭價ヲ保ツモ尙近年頻ニ經營難ヲ唱ヘ居レリ然ラバ日支
ノ蠶業經濟狀態ヲ比較セバ原料供給ノ上ニ在リテハ本邦ハ殆ド支那ノ敵ニア

ラズト云フヲ得ベシ只夫レ幸ニシテ支那ノ現時ハ尙原料ノ競争戰ヲ開始スル
ノ時期ニ達シ居ラザルヲ以テ問題ハ將來ニ屬スルガ如キモ是レ決シテ遠キ將
來ナル可カラズ即チ前記ノ如ク支那ノ養蠶業ハ其產繭ヲ處理スルモノアラ
カ産額増加ハ實ニ容易ナル要素ヲ具備スレバナリ然ルニ此產繭ノ處理即チ繭
絲業ノ開展ハ支那人ノ自力ニ依ルカ抑モ又他力ニ依ル可キカハ頗ル興味アル
問題ニシテ之ヲ過去及現時ノ狀態ヨリ察スレバ支那人ノ自奮自立ニ待ツハ望
渺クシテ形式如何ニ拘ラズ外國人ノ力ニ依リテ後一大開發セラレ、ノ時期目
睫ノ間ニアリト云フ可シ重ネテ前記ノ中ヨリ其一例ヲ舉ゲンニ近來米國人ノ
支那蠶業ニ屬望ノ度益々高マリ再三支那當業者ニ警告ヲ與フルノミナラズ現
ニ本年新タニ大資本ヲ齎シ來ツテ上海ニ根據ヲ構ヘタル米人、イ、グ、ル、商會ノ
美鷹洋行ニ於ケルガ如ク又余ノ知レル範圍ニアリテモ本邦有力ナル製絲家ノ
本年既ニ湖北地方ニテ購繭ヲナシ之ガ爲メ其地方ニ對シテ養蠶業發展ノ大動
機ヲ與ヘタルコト及其他ニモ有力ナル製絲家ノ特ニ人ヲ派シテ實地視察ヲ行
ハシメ居ルモノ既ニ二製絲場ノアルアリ斯クテ外國人ガ或ハ有意ニ或ハ無意

ニ支那蠶業ヲ開發スルモノ年々増加スルニ於テハ支那蠶業ハ非常ナル勢ヲ以テ發達スルニ至ル可キハ明カナリ然モ晏如トシテ此ノ時尙本邦ノ蠶業ニ影響ナシト云フヲ得ンヤ

斯ノ如ク支那ノ蠶業ハ支那人自ラノ努力ニ依リテ一大開發ヲナスノ期コソ或ハ遠カラシムガ其自奮自立ヲ待タズ他力即チ外國人ノ力ニ依リテ開發セラル、ノ期ノ接近ハ疑フ可キノ餘地ナキナリ從ヒテ其原料繭生産ノ上ニ於テ自然本邦トノ競争又近キ將來ニ在リト云フベク轉々寒心ニ堪ヘズトセバ今後ノ

蠶業上ノ對支策

ハ如何ニ研究シ而シテ如何ニ實行スベキカ是レ單リ當業者ノミノ事ニアラズ苟モ本邦蠶絲業ノ位置如何ヲ解スルモノ、雲烟過眼視スベキノ問題ニアラザル可シ然ラバ先ヅ以テ如何ニ之ヲ講究ス可キカ余ハ行李匆匆ノ中ニ於テ以爲ク

(一)支那蠶業ニ對シ本邦人ハ從來ノ如ク全ク袖手傍觀シ歐米人ニ依リテ開發セシムルカ若クハ歐米人ヲ待タズ進ミテ本邦人ノ力ヲ以テ開發スベキカ

(二)支那蠶業ノ發達ニ不利益ナル程度即チ引合ハザル迄ニ本邦養蠶業ヲシテ安値ニ産繭セシメ得ル方策アリヤ

(三)本邦人ガ進ミテ開發ニ從事スルトセバ産繭ノ増加及改良ノ方途ハ別ニ講ズルモ先ヅ其産繭ノ處理ヲ如何ニスベキカ或ハ繅絲廠ヲ彼地ニ設立ス可キカ或ハ産繭ヲ輸入スルコト却テ得策ナル可キカ

(四)本邦人ノ手ニ依リテ支那蠶業ヲ發展セシメタル曉本邦養蠶家ニ迨ボス影響果シテ如何

(一) 支那蠶業ニ對シ本邦人ハ從來ノ如ク全ク袖手傍觀シ歐米人ニ依リテ開發セシムルカ若クハ歐米人ヲ待タズ進ミテ本邦人ノ力ヲ以テ開發スベキカ

最近上海ヨリ輸出スル生絲ノ數量ハ約十萬俵ト稱セラレ内七里絲ハ約四萬俵ニシテ他ハ器械製絲ニ依リ繅製セラレタルモノニシテ此ノ器械製絲ノ多クハ近ク二十年來少數ナル伊佛英人等ノ投資ト技術上ノ指導監督トニ依リ今日ニ至リタルモノナルガ今後生絲ノ大消費國タル米國人ニシテ加ハリ多々益々支那蠶絲業ヲ助長セシメンカ要素ノ十分ナル支那蠶絲ハ益々發展シ其發展スル

ニ從ヒテ我蠶絲ニ影響ヲ迨スマ明カナリトス左レバ此儘袖手傍觀シ歐米人ノ開發ニ委センカ我蠶絲業ノ被ル不利測リ知ルベカラズ本邦人中動モスレバ支那人ノ蠶業ヲ評シテ眠レル虎ノ如シ一度眠ヨリ覺メンカ一大強敵ナレドモ彼ハ終ニ覺メザル可シト云フモノアルモ曷ゾ知ラン支那ノ蠶業ハ決シテ眠レルモノニアラズ古來一貫セル組織ノ下ニ遲緩ナガラモ漸々發達ノ方途ニ向ヒツ、アルハ既ニ記シタル如クニシテ只突飛ナル急劇ノ發達ヲナサルニ過ギズ然ルニ之ヲ眠レル蠶業ト視ルハ寧ロ酷評ト云フベシ假ニ一步ヲ讓リテ眠レル虎ナリトスルモ此ノ眠ヨリ覺醒セシムルモノハ何人ナル可キ歐米人ヲシテ之ニ當ラシムルカ或ハ我邦人進ミテ之ニ當ルベキカガ當面ノ問題ニシテ早晚一大發展ヲナスベキ運命ヲ有スル支那ノ蠶業ニ對シテハ寧ロ本邦人ノ手ニ依リテ開發スルコソ本邦蠶絲業上ノ利益ナルト共ニ又支那養蠶者ノ利益ナリトス故ニ今後支那蠶業ニ對シテハ其時機ト方法トヲ擇ムハ勿論ナルモ要スルニ本邦人ノ手ニ依リ改良發達セシムルノ決心ナカルベカラズ即チ優良ニシテ豊富ナル原料ハ支那人ヲシテ供給セシメ之ニ加工シテ世界ニ供給スル蠶絲ハ本邦

人ノ手ニ依ルノ機運ニ達セシメザルベカラズ是レ對支蠶業策ノ第一步ニシテ日支蠶業ノ聯盟蓋シ是ヨリ成ラン

(二) 支那蠶業ノ發達ニ不利益ナル程度即チ引合ハザル迄ニ本邦養蠶業ヲシテ安値ニ産繭セシメ得ル方策アリヤ

現時ノ状態ニ在リテハ養蠶上本邦ノ農家ハ到底支那農家ト競争シ得ザルコトハ對一貫目ノ繭價ニ格段ナル差異アル事實ニ依リテ證明セシガ驪リテ本邦ノ養蠶組織ヲ變革シ繭價一貫目參圓以内迄低下スルモ尙能ク之ニ堪ヘ得テ益ニ産繭ノ改良ト増加ヲ期シ得タランニハ之ヲ以テ支那ノ産繭ト競争シ得ベキモ然ラザレバ到底支那蠶業ノ發展ヲ阻止シ得ベシト思ハレズ從ヒテ現狀維持ハ或ハ望ミナキモノト云ハザルヲ得ズ何トナレバ左記彼我養蠶人夫賃ヲ比較セバ其生産費ニ於テ本邦養蠶者ノ敗者タルノ數歴々タレバナリ

本邦養蠶人夫一日ノ賃錢	男 四十五錢	女 三十五錢
支那養蠶人夫賃銀	男 三角 (本邦ノ三十錢)	女 二角 (同 二十錢)
養蠶期間	日本 平均三十四日	支那 平均三十一日

備考 支那ノ賃銀ハ養蠶ノ最モ多忙ナル四五日間ニ於ケル最高ノ賃銀ニシテ普通
農業ニ從事スル勞銀ハ優等男一ヶ月三元、次ノ男一元半乃至二元、女子ノ優等一ヶ
月銀錢千二百文、次女千文、小娘八百文ニ過ギズ

以上ハ單ニ養蠶期間ト人夫賃銀高低ノ一例ニ過ギザルモ本邦ノ其レニ比シ大
差アルヲ知ル可ク從ヒテ生産費モ亦大差アルヲ知ル可クシテ到底産繭上ノ競
争ニ於テハ彼レヲ壓倒シ得可シト思ハレズ、其他尙飼育法ノ改革ニ依リテ生産
費ヲ節減シ得ルノ方途ナキニアラザルモ本問題ヲ解決スルニハ餘リニ有力ナ
ル材料トナスニ足ラズ、兎ニ角支那蠶業ノ發達ニ不利益ナル程度迄ニ本邦養蠶
業ヲシテ安價ニ産繭セシメンコトハ望ミナキコトト云ハザル可カラズ

(三) 本邦人ガ進ミテ開發ニ從事スルトセバ産繭ノ増加及改良ノ方途ハ
別ニ講ズルモ先其産繭ノ處理ヲ如何ニスベキカ或ハ繅絲廠ヲ彼地
ニ設立ス可キカ或ハ産繭ヲ輸入スルコト却テ得策ナル可キカ

支那蠶業ノ開發上其産繭ノ處理ニ就キ最モ緊要ノ關係ハ交通ノ便否ニアルハ
勿論ナルモ茲ニハ別問題トナシ愈々本邦人ガ支那産繭ヲ處理セントスルノ曉
繅絲廠ヲ彼地ニ設ケテ直ニ製絲スベキカ又ハ原料繭ヲ内地ニ輸入シテ製絲ス

ベキカ是レ大ニ調査講究スベキ問題ニシテ輕々論斷スベキニアラザルモ彼地
ニ繅絲場ヲ設ケンカ支那人ト合辦組織トナスニアラザレバ事實遂行上頗ル不
利益ナルノ事實ハ獨リ製絲業ノミナラズ他ノ專業ニモ亦從來嘗メ來リタル苦
キ經驗乏シカラザルコトナレバ之ヲ合辦組織トナスコト可ナラン思フニ此ル
機運ハ必ズ到來スベク又然カナサレバ製絲經濟上不利益タル可キモ其前ニ
當リ原料繭ヲ輸入シテ製絲スルモ亦必要ナル可シ只夫レ支那ノ原料ハ前記ノ
如ク本邦ノ原料ニ比シテ頗ル安價ナルモ之ヲ内地ニ移シテ製絲シ尙製絲上利
益ヲ收メ得ベキヤ否ヤ是レ重要ナル先決問題ナリ然レドモ假リニ支那無錫地
方ノ産繭ヲ購入シ之ヲ横濱渡トシテ生繭一ペ目ガ幾干ニ仕上ゲ得ベキカ前數
年ノ繭價ヲ基礎トシテ計算スルトキハ大凡左ノ如キモノトナル

江蘇省無錫及常熟ニ於ケル繭行ノ實例

得收鮮繭千擔

得乾繭三百三十三擔三十三斤

一繭行租(免許稅其他諸費)

仲二千元

一各友辛俸(給料及報酬)

同一千三百八十元

- 一 繭質保險 同 一千百三十八元
- 一 烘繭樹柴(乾繭薪代) 同 九百元
- 一 福食米菜(食費) 同 三百念元
- 一 小工烘繭 同 一千百元
- 一 官場衛費(警護雜費) 同 二百九十六元
- 一 地方紳士(饗應及報酬) 同 三百八十三元
- 一 繭捐厘金(税金) 同 二千九百五十元
- 一 火車運賃(鐵道運賃) 同 二百六十元
- 一 小輪煤火(小蒸汽船費) 同 二百元
- 一 繭袋繩子 同 五百柴十元
- 一 襪項水費 同 六百五十元

以上約計其費件一萬二千五百五十二元

乾繭每擔約三十七元六角

以上ハ無錫及常熟ノ金禮和繭行ニ於ケル本年ノ實例ナルガ本繭行ノ經費ハ頗

ル贅澤ノ嫌アリ故ニ前記ヨリ約二割ハ優ニ節減シ得ラルヽモノト信ズルモ假
ニ前記ノ經費ヲ要スルモノトシ生繭一貫目ニ換算スルトキハ左ノ如キ計算ト
ナル

一 生繭百斤高價 四十二元

一 同上購繭費上海着 十二元五角三分

計五十四元五角三分 每一貫目三元四角

更ニ上海ヨリ横濱迄運搬スルノ經費ヲ概算スルニ
對乾繭百斤

航路稅 一兩(一圓三十錢替トシテ)

輸出稅 三兩五匁(同)

上海横濱間運賃 二弗

袋代及苦力 六角五分

計八元五角

之ヲ生繭一貫目ニ換算スルトキハ十七錢七厘トナリ更ニ海上保險料ヲ百圓ニ

付二十四錢附スルモノトスルトキハ生繭一貫ハ約七厘ニ相當スルヲ以テ計十
八錢四厘トナル即チ之ニ原價及上海迄ノ諸經費ヲ合算スルトキハ生繭一貫目
ハ約三圓五十八錢四厘ニテ本邦製絲家ノ手ニ收メ得ラル可ク又突飛ナル本年
ノ繭價百斤五十九元ヲ以テ計算スルモ尙對一貫目四圓六十五錢四厘ニ過ギザ
ル計算トナル是レ本邦當業者ニ奮起ヲ望マザルヲ得ザル所以ナリ

(四) 本邦人ノ手ニ依リテ支那蠶業ヲ發展セシメ
タル曉本邦蠶家ニ迫ボス影響果シテ如何

歐米人タルト本邦人タルト又其方法ノ如何ヲ問ハズ支那蠶業ノ愈々開發セラ
ル、曉ニ至ランカ直接本邦ノ蠶絲業ニ影響ヲ迫スハ勿論ナレドモ就中本邦當
業者ノ手ニ依リ開發セラル、トキハ本邦蠶家ニ影響スルコト頗ル大ナルモ
ノアルヲ覺悟セザルベカラズ何トナレバ彼我ヲ問ハズ同品位ノ原料ナリトセ
バ需用ハ幾分ニテモ値ノ低キニ就クハ經濟上ノ通則ナレバナリ去レバ原料ノ
價格ニ於テ彼レノ我ヨリ優者タルノ顯著ナル以上直接打撃ヲ受クルハ本邦養
蠶者ナリト云ハザルベカラズ況ンヤ本邦製絲家ノ製絲能力ニモ限リアレバ支
那繭ノ輸入多ケレバ夫レ丈本邦生産繭ノ需供ニ影響スレバナリ

然ラバ今後本邦養蠶家ハ如何ナル覺悟ヲ要スルカ是レ大ニ講究スベキ問題ニ
シテ余ガ所見ヲ以テスレバ今後本邦養蠶家ノ生産スル繭ノ大部分ハ優良絲ノ
生産ニ適スル原料即チ世界ニ供給スル優良絲ノ原料ハ本邦國內ニテ生産セル
モノナルヲ要シ他ノ原料ニテ製絲スルハ製絲上ノ利益トナル程度迄本邦産繭
ヲ向上セシムルコトヲ大方針トシテ進ムニアリトス而シテ此ノ大方針ヲ遂行
スルニハ

- 一 優良蠶種類ノ作出ト之ガ普及ヲ圖ルコト
 - 一 飼育方法ヲ研究シ一層簡ニシテ然モ蠶兒ニ適スル方法ヲ普及スルコト
 - 一 桑樹ハ可成中刈以上ノ仕立トナシ春夏秋蠶用ノ區別ヲナスコト
- 以上三項ノ現實ニ努メ而シテ強テ産繭額ノ増加ノミヲ圖ラズ現在若クハ總額
五百萬石位ヲ程度トシ其他必要ノ原料即チ中絲及以下ノ原料ハ本邦ノ選除繭
及支那原料ニ需ムルコト、セバ世界蠶絲ノ需用如何ニ増加スルモ敢テ支障ナ
キニ至ルト共ニ本邦産繭ノ品位ヲ向上セシメ從ヒテ養蠶家ヲ利スルニ至ル可
シ

由來本邦ノ蠶絲業ハ稀レニ優良絲ナキニアラザルモ多クハ中絲ノ多産多賣ヲ以テ大方針トナシ來リタル跡アルモ今後ハ之ヲ一變シ優良絲ト中絲トノ多産多賣ヲ主眼トナシ以テ世界蠶絲ノ需用ハ本邦獨リ之ガ供給ノ任ニ當ルノ大覺悟ヲナササルベカラズ

斯クシテ初メテ我國養蠶業ノ危機ヲ救ヒ得ルノミナラズ益々其業ノ安固ト隆昌ヲ期スルヲ得ルト共ニ斯ノ聯盟計畫進捗センカ支那ノ蠶業モ亦世界蠶絲ノ需用ニ伴ヒ漸次發達シテ其農民ノ福利モ亦之ニ準ジテ増進ス可シ

支那蠶業視察報告書終

大正五年九月廿七日印刷

大正五年九月三十日發行

農商務省蠶業試驗場

印刷者 島 連太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所 三 秀 舍

東京市神田區美土代町二丁目一番地

IF 3G50

臺灣省各縣農業局編

大正九年
大正十年
大正十一年
大正十二年

終